

平 成 24 年 度

主 要 な 施 策 の 成 果 説 明 書

中 央 区

地方自治法（昭和22年法律第67号）第233条第5項の規定
に基づき、平成24年度における主要な施策の成果説明書を
提出します。

平成25年9月20日

中央区長 矢 田 美 英

主 要 な 施 策 の 成 果 に つ い て

本区の人口は、平成25年4月、46年ぶりに定住人口13万人を回復しました。平成24年の1年間では3,384人の増（外国人を除く）、その中でも、とりわけ30歳代、40歳代の増加が著しく、また、出生数も3年連続で年間1,400人を超えるなど、乳幼児人口も増加が続いています。

一方、こうした人口増や将来を含めた年齢構成の変化に伴い、子育て支援策や高齢者施策へのニーズがますます高まるとともに、本区のにぎわいと活力を支える区内中小企業への支援などの景気対策、待ったなしの地球環境問題への対策など、多様な行政課題への的確な対応も求められています。さらに、東日本大震災の教訓や、都心である本区の特性を踏まえた地域防災力の向上も急務です。

こうした状況の下、「基本計画2008」の前期最終年度に当たる平成24年度においては、「都心から日本を元気に！」をテーマとして、区民の命と財産を守る災害に強いまちづくりを第一に、子どもから高齢者まですべての方にやさしく、安心して暮らせるまちの実現に向けて「10年後の中央区」を見据えた各種施策の充実・強化を図りました。特に、首都直下地震等に備えた帰宅困難者対策や高層住宅防災対策の強化、建築物の耐震化の促進、仕事と子育ての両立に向けた保育施設の整備や子どもの居場所づくり、住み慣れた地域でいつまでも暮らし続けられる在宅介護の充実や高齢者の豊かな経験・知識を生かす「70歳就労社会」の実現、商工業融資をはじめとする中小企業対策や商店街活性化など景気浮揚に向けた経済対策に重点的に取り組みました。また、平成24年10月に開催された国際通貨基金（IMF）・世界銀行年次総会の機会を捉え、外国人観光客来街促進事業を実施するなど、にぎわいの創出を図りつつ、世界に都心中央区の魅力を積極的に発信しました。

主要な施策の成果は、次のとおりです。

平成24年度 主要な施策一覧

事業				新規	決算額 (千円)	頁
1 思いやりのある 安心できるま ちをめざして	○ 生涯をいきい きと暮らすた めに	＊ 保健医療	(1) 母子健康手帳の内容充実		854	6
			(2) 母子保健指導		20,506	6
			(3) 予防接種費用の助成等		67,306	6
			(4) がん検診		427,894	7
			(5) 子宮頸がん予防ワクチン接種費用の助成		27,065	8
			(6) 歯科健康診査		58,567	8
			(7) 中央区健康・食育プラン2013の策定	新規	6,512	8
			(8) 自殺総合対策推進事業		1,671	8
		＊ 障害者福祉	(1) 障害者就労支援モザイク平板の設置		3,030	9
			(2) 精神障害者相談・交流事業「ほっと・つくだ」の 拡充		5,668	9
			(3) 障害のある方の住宅への家具類転倒防止器具 の取付		63	9
			(4) リフト付ハイヤー運行		12,177	10
			(5) 障害児一時預かり事業		19,312	10
			(6) 障害者居住系サービス施設(グループホーム) 整備費等助成		8,930	10
		＊ 高齢者福祉	(1) さわやか体操リーダーの育成		1,699	11
			(2) 介護予防事業		25,335	11
			(3) 高年齢者合同就職面接会		132	12
			(4) 高齢者雇用促進支援事業		2,210	12
			(5) 元気高齢者人材バンク		2,060	13
			(6) 「見守りキーホルダー」登録システム	新規	597	13
			(7) 地域見守り事業支援		1,268	13
			(8) 高齢者あんしんコール事業		12,121	13
			(9) 高齢者食事サービス		30,472	14
			(10) 十思スクエア地域密着型特別養護老人ホーム (仮称)等複合施設の整備		514,744	14
			(11) 勝どき五丁目高齢者施設等の整備	新規	926,909	14
			(12) 在宅療養支援		19,328	14
			(13) 介護サービス事業者に対する看護師等雇用補助		36,147	15
			(14) ミドルステイの新規実施とショートステイの充実	新規	15,413	15
			(15) 巡回型ホームヘルプサービス		72,152	16
			(16) 高齢者生活援助サービス		12,246	16
			(17) 高齢者の住宅への家具類転倒防止器具の取付		2,070	17
			(18) 敬老買物券等の贈呈		103,971	17
	○ 健やかな子どもを育むた めに	＊ 子育て・青少年 健全育成	(1) 出産支援事業		102,617	18
			(2) 子どもの居場所「プレディ」の拡大		173,411	18
			(3) 放課後子ども広場中央の開設	新規	13,970	18
			(4) 晴海児童館・晴海こども園の整備・開設	新規	1,109,033	18
			(5) 学童クラブ指導時間・延長指導の拡充		-	19
			(6) 子どもショートステイ		6,302	19
			(7) 認可外保育施設保育料の助成		201,488	19
			(8) 子ども医療費助成		493,414	20
			(9) 私立認可保育所の開設準備経費助成		83,254	20
	○ 思いやりとふ れあいのある まちのために	＊ 男女共同参画	(1) 男女共同参画行動計画の策定	新規	5,797	20

平成24年度 主要な施策一覧

事業				新規	決算額 (千円)	頁	
2 うるおいのある 安全で快適な まちをめざして	○ 住みやすい 環境づくり	* 公園・緑地・ 水辺	(1) 民間施設の緑化助成		9,540	21	
			(2) 公共施設の緑化推進		23,214	21	
			(3) 街路樹の整備		22,418	21	
			(4) 公園・児童遊園の改修		75,915	22	
	○ 地球にやさし い環境づくり	* 環境保全	(1) 中央区エコタウン構想の推進		6,600	22	
			(2) 中央区子ども環境サミットの開催		1,105	23	
			(3) 環境情報センターの開設準備	新規	3,464	23	
			(4) 未利用エネルギーに関する調査		4,988	24	
			(5) 中央区の森		15,603	24	
			(6) 低公害車の普及促進		3,793	24	
			(7) 区施設における太陽光発電設備の設置		30,765	25	
			(8) 自然エネルギーおよび省エネルギー機器等導 入費助成		26,614	25	
			(9) 照明のLED化		29,211	25	
			(10) 「中央区の森」の間伐材を活用したベンチ整備		2,208	26	
			(11) 地域クリーンパトロールの展開		37,560	26	
		* 循環型社会	(1) リサイクル事業の普及・啓発		2,167	26	
			(2) 清掃事業の普及・啓発		751	27	
			(3) 資源持ち去り防止対策		7,234	27	
			(4) 資源再利用(リサイクル)の推進		509,291	27	
			(5) 土のリサイクル		2,706	28	
		○ 都心にふさわ しい都市の基 盤づくり	* 道路・交通	(1) 人にやさしい歩行環境の整備		58,573	28
				(2) 小田原橋の撤去および駐車場代替施設の整備		94,890	28
				(3) 街路環境(シンボルロード)の整備		91,458	29
				(4) 自動二輪車駐車場の整備		2,733	29
				(5) コミュニティバス(江戸バス)の運行		108,504	29
				(6) 電線共同溝の整備		241,215	30
				(7) 歩行者専用橋の整備		63,431	30
				(8) 橋りょうの架替		576,535	30
	(9) 基幹的交通システム導入に関する調査				15,364	31	
	(10) 新月島川の護岸整備			新規	102,900	31	
	(11) にぎわいのある道路の整備				50,906	31	
	(12) 環境にやさしい道路の整備				125,787	32	
	(13) 橋りょうの健全度調査				18,711	32	
	(14) 橋りょう長寿命化修繕工事				117,810	33	
	(15) 自転車事故再現による交通安全教室				788	33	
	* 防災・危機管理		(1) 地域防災計画の修正		12,201	34	
			(2) 防災拠点運営委員会への支援		11,729	34	
			(3) 防災拠点運営委員会訓練		13,174	34	
			(4) 防災拠点備蓄品の整備		43,576	35	
			(5) 防災パンフレットの作成		8,974	35	
			(6) 地域防災無線・防災行政無線の新設・移設		12,512	36	
			(7) 緊急告知ラジオの有償頒布		92,088	36	
			(8) 高層住宅防災対策		3,959	37	
			(9) 生活再建支援システムの導入	新規	11,887	37	
			(10) 災害時要援護者対策の推進	新規	14,100	37	
			(11) 中学校防災ヘルメットの配備	新規	1,084	38	
			(12) 事業所防災対策DVD等の制作	新規	7,056	38	
			(13) 帰宅困難者対策協議会設立支援		7,605	38	
			(14) 住宅・建築物の耐震化助成		997,887	39	
			(15) 災害時対応型公衆便所の整備		39,950	40	
			(16) 暴力団排除に向けた取組の実施	新規	334	40	
			(17) 安全・安心おまかせ出前相談と住まいの防犯対 策助成		143	40	
			(18) 共同住宅等生活安全(防犯)アドバイザーの派遣と 防犯設備整備費助成		23,408	41	
	* 地域整備	日本橋再生推進協議会の運営と名橋「日本橋」上 (1) 空の首都高速道路撤去および日本橋川再生に向 けたまちづくり調査		8,974	41		
		(2) 築地場外市場地区先行営業施設の整備	新規	29,190	41		
		(3) 築地場外市場「食」に関する情報拠点運営費等 助成	新規	35,000	42		
		(4) 市街地再開発事業助成		4,384,740	42		
		(5) 都市再生土地区画整理事業助成		270,000	42		

平成24年度 主要な施策一覧

事業				新規	決算額 (千円)	頁
3 にぎわいとふれあいのある躍動するまちをめざして	○ にぎわいと活力のある産業のまちづくり	* 商店街振興	(1) 観光商業まつり		52,095	43
			(2) 共通買物券の発行		580,430	43
			(3) 商店街支援事業補助		158,665	43
		* 産業振興	(1) 商工業融資		3,002,500	44
			(2) 中小企業振興補助		5,604	45
			(3) 産業文化展		32,935	45
			(4) 日本橋問屋街活性化事業支援		5,098	45
			(5) 中央区工業団体連合会50周年記念事業助成	新規	7,932	46
			(6) 若年者合同就職面接会		243	46
			(7) 職業相談・就職ミニ面接会		393	46
			(8) 雇用促進奨励金		882	47
		* 観光	(1) 東京湾大華火祭		242,234	47
			(2) 都市観光推進協議会の設置	新規	180	47
			(3) 外国人観光客来街促進事業	新規	49,949	47
	○ いきいきと学び豊かな個性を育むまちづくり	* 学校教育	(1) 学習意欲の向上と学習習慣の定着		18,685	48
			(2) 小学校の学力向上対策		63,536	48
			(3) 中学校の学力向上対策		73,247	48
			(4) 土曜学校公開		-	49
			(5) 英語教育の推進		73,000	49
			(6) 授業力向上支援		3,035	49
			(7) 健康教育の推進		55,760	50
			(8) 心を育てる教育の推進		16,487	50
			(9) 教育相談		51,295	50
			(10) 特別支援教育への対応		121,300	51
			(11) 小学校・幼稚園の改築		5,644,116	51
			(12) スクールバスの運行		18,959	52
	○ 文化の香る交流のまちづくり	* 生涯学習・スポーツ	(1) 中央小学校・明石小学校のスポーツ開放	新規	14,004	52
			(2) 地域スポーツクラブの設立支援		386	53
		* コミュニティ	(1) 大江戸まつり盆おどり大会		40,251	54
			(2) 雪まつり		10,222	54
			(3) 協働提案事業		1,106	54
			(4) 区民還暦祝い事業		10,241	55
		* 文化振興	(1) 中央区まるごとミュージアム		32,658	55
			(2) 文化事業助成		5,016	56
			(3) まちかど展示館		18,404	56
			(4) 子ども向け文化・歴史読本の作成		18,058	56
		* 平和	(1) 平和の都市(まち)の楽しい集い		9,181	57
			(2) 平和展		2,402	57

平成24年度 主要な施策一覧

事 業			新規	決算額 (千円)	頁
4 その他の主要な課題への対応と区政改革の推進	○ 新たな課題への対応	(1) 「区のおしらせ 中央」および「区議会だより」のコンビニエンスストア・地下鉄駅での配布		310	58
		(2) 「労働スクエア東京」跡地複合施設整備		229,301	58
		(3) 中央区基本計画2013の策定	新規	12,035	58
		(4) 子どもたちの人権メッセージ発表会	新規	1,266	59
		(5) 企画ラジオ番組の放送	新規	10,495	59
		(6) 人材育成研修の実施	新規	1,093	59
	○ 緊急な課題への対応	(1) 緊急雇用創出事業		60,154	60
		① 未就職学卒者の就労支援事業		48,926	60
		② 路上弁当販売監視指導		4,027	60
		③ 駅周辺等放置自転車の整理		7,201	61
		(2) 東日本大震災被災地への支援		10,561	61
		(3) 被災地支援のためのボランティア保険料助成	新規	1,154	61
		(4) 放射線環境測定調査		1,131	62
	○ 電子区役所の推進	(1) デジタルサイネージの導入		1,609	63
	○ 区施設の改修	(1) 中央会館「銀座ブロッサム」		114,179	64
		(2) 区民健康村「ヴィラ本栖」		817,293	64
		(3) 特別養護老人ホーム「マイホームはるみ」等複合施設		488,205	64

計 154事業（うち新規25事業）

1 思いやりのある安心できるまちをめざして

○ 生涯をいきいきと暮らすために

* 保健医療

(1) 母子健康手帳の内容充実 [決算額 854千円]

母子健康手帳に先天性胆道閉鎖症等の早期発見のための便色調カード等を追加した。

(2) 母子保健指導 [決算額 20,506千円]

ア 新生児訪問指導

育児不安の解消等を図るため、保健師・助産師による新生児訪問指導体制を強化して訪問数を増やした。

訪問件数 1,291件（平成23年度訪問数 1,139件）

イ 乳幼児健康相談

晴海地区における乳幼児の増加に対応するため、平成24年12月に開設した晴海児童館において平成25年1月から「乳幼児健康相談」および「乳幼児歯科相談」を月1回定期的に実施した。

参加者数 30人

ウ 離乳食講習会

新たに生後5～6カ月頃の乳児の保護者を対象とした離乳食講習会を実施し、離乳食開始から完了まで、きめ細かく支援を行うことにより、子育て不安の解消を図った。

実施回数 45回

参加者数 998人

(3) 予防接種費用の助成等 [決算額 67,306千円]

ア おたふくかぜワクチン

流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）を予防するため、「おたふくかぜワクチン」の接種費用の一部を新たに助成した。

助成対象者 1歳～小学校就学前児童

助成額 接種1回のみ4,000円

助成者数 2,407人

イ 水痘（みずぼうそう）ワクチン

水痘・帯状疱疹を予防するため「水痘（みずぼうそう）ワクチン」の接種費用の一部を新たに助成した。

助成対象者 1歳～小学校就学前児童

助 成 額 接種1回のみ4,000円

助成者数 2,345人

ウ 不活化ポリオワクチン

急性灰白髄炎（ポリオ）の定期予防接種ワクチンについて、国の方針に基づき、ごくまれに副作用のまひが生じるおそれがある「生ポリオワクチン」から、より安全性の高い「不活化ポリオワクチン」に切り替えた。

導入時期 平成24年9月1日

接種対象 生後3カ月以上90カ月（7歳6カ月）未満

接種者数 延4,290人

(4) がん検診

[決算額 427,894千円]

がんの早期発見・早期治療を目的として、各種がん検診を実施した。乳がん検診については、平成23年度に引き続き受診対象者を拡大するとともに、平成24年度は20歳～58歳までの乳がん・子宮がん検診の未受診者に受診の再勧奨を行った。

また、国の「がん検診推進事業」を、平成22・23年度に引き続き実施した。

受診者数	・胃がん検診	10,340人	
	・大腸がん検診	14,563人	
	・子宮がん検診	7,962人（区 6,547人	国 1,415人）
	・乳がん検診	5,048人（区 4,183人	国 865人）
	・肺疾患（肺がん等）検診	15,799人	
	・前立腺がん検診	4,382人	

*乳がん検診

	変更前	変更後
受診対象者	・ 36歳以上の偶数歳の女性 ・ 41歳以上の奇数歳で前年度受診していない女性	・ 36歳以上の偶数歳の女性 ・ 37歳以上の奇数歳で前年度受診していない女性

(5) 子宮頸がん予防ワクチン接種費用の助成 [決算額 27,065千円]

子宮頸がんワクチン接種費用の全額助成を中学1年生から高校1年生相当までを対象に実施した。また、平成23年のワクチン供給不足の影響を受けた方の接種機会を確保するため、平成24年度に限り高校2年生から大学1年生相当までを対象として実施した。

助成者数 延1,435人

(6) 歯科健康診査 [決算額 58,567千円]

成人歯科健康診査は平成23年度から受診対象者を30歳～70歳の偶数歳に拡大して、歯周疾患の早期発見と予防指導を行っている。また、高齢者に対しても72歳以上の偶数歳を対象として、高齢者の介護予防・窒息や誤えん性肺炎の予防を図るために、高齢者歯科健康診査を行っている。

成人歯科健康診査受診者数 4,499人

高齢者歯科健康診査受診者数 1,323人

(7) 中央区健康・食育プラン2013の策定 [決算額 6,512千円]

「健康中央21（2008年版）」（平成20年改定）および「中央区食育推進計画」（平成20年策定）の計画期間満了に伴い両計画を改定・一本化した「中央区健康・食育プラン2013」を新たに策定し、区民の健康づくりを支援していくための施策や事業展開の指針とした。

(8) 自殺総合対策推進事業 [決算額 1,671千円]

ア 健康福祉まつり・健康増進フェア

こころの健康づくり（うつ病・自殺予防）のコーナーを設置し、ストレス解消方法やうつおよび自殺に対する正しい知識を周知した。

イ 東京都自殺予防月間（9月・3月）

懸垂幕等の掲出（中央区保健所）、パネル展示（区施設4カ所）、街頭キャンペーン（区内3カ所）、ポスター掲示（区施設）を行い、自殺に対する正しい理解の推進と、要因となるこころの悩み・多重債務・労働問題等の各種相談窓口を周知した。

ウ ゲートキーパー養成講座

悩んでいる人に気づき、必要な支援につなげ、見守る人を養成するゲートキーパー養成講座を実施した。

開催数 2回

参加者数 140人

エ 中央区自殺対策協議会

区、医療機関、関係行政機関等がネットワークを構築し、相互に連携して自殺対策を総合的に推進するため、自殺対策協議会を設置し、7月および2月に開催した。

* 障害者福祉

(1) 障害者就労支援モザイク平板の設置 [決算額 3,030千円]

障害のある方が建設廃材を活用して制作したモザイク平板を、区施設の壁面等に設置することにより、障害のある方の自立を支援するとともに、うるおいのあるまちづくりを促進した。

設置場所 浜町河岸緑道、浜町公園内

施工面積 20㎡

(2) 精神障害者相談・交流事業「ほっと・つくだ」の拡充 [決算額 5,668千円]

精神障害者やその家族の電話・来所による休日相談等を実施する「ほっと・つくだ」の開設日を平日にも拡大し、精神障害者に対する相談・支援体制の充実を図った。

開設日 土・日曜日 → 火・木・土・日曜日

所在地 中央区佃2丁目17番8号（佃区民館 2階）

運営事業者 特定非営利活動法人 つつじ

(3) 障害のある方の住宅への家具類転倒防止器具の取付 [決算額 63千円]

地震による家具類の転倒を防止し、生命の安全と財産の保全を図ることを目的として、一定以上の障害のある方の住宅への家具類転倒防止器具の取付を行った。

平成24年度は、新たに扉開放防止器具を加え転倒防止器具を9種類とした。

費用負担 4個までは器具および取付費用無料

設置者数 2人

器具取付個数 8個

(4) リフト付ハイヤー運行 [決算額 12,177千円]

車いすや移動寝台車（ストレッチャー）に乗ったまま乗り降りできるリフト付ハイヤーの運行台数を2台から3台に増やし、社会生活の利便性向上と社会参加の促進を図った。

(5) 障害児一時預かり事業 [決算額 19,312千円]

放課後や夏休み等における障害児の居場所の確保を図るため、就学している障害児の一時預かりを実施した。

対 象 者	区内在住の小学生から高校生までの障害児	
定 員	1日7人	
場 所	福祉センター	
利 用 料	無料（昼食・おやつ代等については、実費を徴収する。）	
実 施 日	月曜日～金曜日（祝日、年末年始を除く。）	
利用時間	平日（学校の授業実施期間）	正午～午後5時
	夏休み、冬休み、春休み等（学校の休業日）	午前9時～午後5時
利用状況	登録者数	27人
	開設日数	245日
	利用者数	延1,194人

(6) 障害者居住系サービス施設（グループホーム）整備費等助成 [決算額 8,930千円]

障害のある方に共同生活の場を提供し、日常生活上の支援を行うことにより、地域社会での自立を促進するため、障害者グループホームを新たに開設する事業者に対して、施設整備費および運営費の一部を助成した。

対象施設	クローバーズ・ピア浜町公園
運営事業者	社会福祉法人 信和会
入居定員	14人（知的障害者4人、精神障害者10人）
開 設 日	平成25年1月1日

* 高齢者福祉

(1) さわやか体操リーダーの育成

[決算額 1,699千円]

元気高齢者向けの体操教室を企画・立案し運動指導できるリーダーを養成するため、中央区さわやか体操リーダー育成講座（初級編5日間・上級編5日間）を実施した。

リーダー登録者 9人

上級編進級者 12人

(2) 介護予防事業

[決算額 25,335千円]

生活機能評価の結果に基づき、要介護状態になるおそれのある高齢者に対して運動機能低下や低栄養などに応じた身体機能向上プログラムを実施した。

ア 筋力アップ教室

マシンを使った運動機能の向上プログラムを実施した。

場 所 中央区保健所（送迎あり）

定 員 10名（3カ月コース 週2回 年3コース実施）

開催回数 72回

参加者数 26人

イ 健康づくりサロン「はつらつ」

運動機能維持のための自宅でもできる簡単な体操および専門職による栄養改善や口腔機能向上の講習を一体的に実施した。

場 所 中央区保健所・浜町高齢者トレーニングルーム・ケアプラザあいおい・
マイホームはるみ

開催回数 48回

参加者数 延598人

ウ 訪問型介護予防事業

閉じこもり傾向のある高齢者の居宅を保健師が訪問し、生活機能に関する問題の把握・評価を行い、必要な相談・指導を実施した。

利用者実数 28人

訪問件数 延87件

(3) 高年齢者合同就職面接会

[決算額 132千円]

おおむね55歳以上の高年齢者の就労機会を拡大するため、高年齢者と求人を希望する区内を中心とした企業との合同就職面接会を中央区地域雇用問題連絡会議（区、社会福祉法人中央区社会福祉協議会、公益社団法人中央区シルバー人材センターほか）主催により開催した。

実施日 平成25年2月27日

会場 区役所大会議室

参加企業 15社

参加者数 101人

(4) 高齢者雇用促進支援事業

[決算額 2,210千円]

働く意欲のある高齢者が、培った知識や経験を生かして、いつまでも働ける就労環境の整備を推進するため、高齢者雇用促進奨励金を交付した。

ア 高齢者雇用制度導入奨励金

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構が行う「中小企業定年引上げ等奨励金」の支給決定を受けた事業主に対して奨励金を交付した。

交付額 1事業主あたり10万円

交付件数 16件

イ 高齢者雇用企業奨励金

無料職業紹介所「シルバーワーク中央」またはハローワークの紹介により、65歳以上の区民を6カ月間および1年間継続雇用した事業主に対して奨励金を交付した。

交付額 6カ月間継続雇用

週20時間以上30時間未満の雇用契約の場合 2万円

週30時間以上の雇用契約の場合 4万円

1年間継続雇用

週20時間以上30時間未満の雇用契約の場合 3万円

週30時間以上の雇用契約の場合 6万円

交付件数 11件

(5) **元気高齢者人材バンク** [決算額 2,060千円]

地域社会貢献活動に高齢者の豊かな経験や知識を生かせるよう「元気高齢者人材バンク」として人材登録を行うとともに、ボランティア活動等のマッチング、イベントの実施、ホームページや情報誌による情報発信等を行い、高齢者の社会参加の促進を図った。

登録者数	92人
活動件数	58件
活動者数	延633人

(6) **「見守りキーホルダー」登録システム** [決算額 597千円]

65歳以上（要支援・要介護認定者は40歳以上）の区民が外出中に倒れ救急搬送された場合や徘徊などで保護された場合などに、あらかじめ登録された番号をおとしより相談センターに問い合わせることで迅速に身元確認等ができる「見守りキーホルダー」を配布し、高齢者が安心して外出できるよう支援した。

配布数	1,584個
-----	--------

(7) **地域見守り事業支援** [決算額 1,268千円]

ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯の方が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、おとしより相談センターを核として地域全体でその生活を支えていく地域見守りネットワークの拡大を図るため、声かけや見守り活動を行う地域団体への支援を行った。

また、自宅で倒れた時などに救急隊による救急活動がより適切に行えるよう、緊急連絡先や血液型などを記入して冷蔵庫に保管しておく「救急医療情報キット」を配布した。

実施団体数	14団体
見守り対象者数	315人
救急医療情報キット配布数	815個

(8) **高齢者あんしんコール事業** [決算額 12,121千円]

ひとり暮らし高齢者または高齢者のみの世帯で、要介護認定を受けていない方を対象として、オペレーターが24時間365日体制で生活や健康面での不安や悩みに対する相談・アドバイスを行うとともに、緊急時には介護福祉士またはタクシー会社などの応急救護講習を受講した者による訪問サービス等を実施した。

設置者数	65人
利用者数	延789人

(9) 高齢者食事サービス [決算額 30,472千円]

調理が困難な70歳以上（要支援・要介護の認定を受けた者は65歳以上）のひとり暮らし高齢者・高齢者のみの世帯・日中独居の高齢者に安否確認をかねて食事(昼・夕食)を配達した。

配食数 延84,592食

利用者数 延5,932人

(10) 十思スクエア地域密着型特別養護老人ホーム（仮称）等複合施設の整備

[決算額 514,744千円]

日本橋地域に地域密着型特別養護老人ホームおよび小規模多機能型居宅介護事業所を整備するため、埋蔵文化財調査および施設整備工事を行った。

施設計画

予定施設 地域密着型特別養護老人ホーム、小規模多機能型居宅介護事業所

整備地 中央区日本橋小伝馬町5番1号（十思スクエア敷地内）

構造規模 耐火構造 地下1階地上5階建ての3階から5階部分

開設予定 平成26年9月

(11) 勝どき五丁目高齢者施設等の整備 [決算額 926,909千円]

勝どき五丁目地区第一種市街地再開発事業区域内に高齢者施設等を整備するため、同区域内にある都営住宅月島アパート跡地の一部を東京都から取得した。

施設計画

予定施設 小規模多機能型居宅介護事業所、サービス付き高齢者向け住宅、おとしより相談センター、保育施設

整備地 勝どき五丁目地区第一種市街地再開発事業区域内

(12) 在宅療養支援 [決算額 19,328千円]

ア 在宅療養支援病床の確保

要介護高齢者等が地域で安心して在宅療養を続けられるよう、病状の急変時等に速やかな受入れが可能な在宅療養支援病床を確保した。

病床数 3床（3カ所）

入院期間 14日以内

利用日数 延571日

イ 在宅療養支援協議会の運営

経管栄養などの医療的ケアを必要とする要介護者を在宅で介護する家族の負担を軽減するとともに、可能な限り在宅での生活を継続できるよう、医療機関、薬局、訪問看護ステーション、ケアマネジャー、介護サービス事業者および区から構成される在宅療養支援協議会において、支援のための体制づくりや方策を検討した。

開催回数 2回

協議内容 ・医療ニーズの高い要介護者向けの緊急ショートステイの実施
・在宅療養研修の開催
・「在宅療養支援の手引」の活用方法に関するアンケート調査の実施等

ウ 在宅療養支援訪問看護

要介護者等が在宅で療養中の場合や、病院等を退院・退所または外泊する場合に、看護師等が居宅を訪問して療養上の相談や医療的ケアの指導などを行い、要介護者やその家族が地域において安心して暮らし続けられるよう訪問看護指導を行った。

派遣回数 18回

利用者数 11人

エ 在宅療養研修

介護サービス事業所への在宅療養に必要な知識や技術の習得・向上および区民への在宅療養の意識啓発と情報提供を図るための研修を実施した。

事業所向け 2回

区民向け 1回

(13) 介護サービス事業者に対する看護師等雇用補助 [決算額 36,147千円]

区内の民間特別養護老人ホームにおいて経管栄養等の医療的ケアを必要としている方の受入れを拡大するため、配置基準を超える看護師等を雇用するための費用を補助した。

助成施設数 2施設

(14) ミドルステイの新規実施とショートステイの充実 [決算額 15,413千円]

ア 特別養護老人ホーム入所希望者の増加に伴い入所待機者の在宅介護を支援するため、連続して1～3カ月（年間上限3カ月）宿泊利用できるミドルステイを実施した。

開始日 平成24年6月1日

利用施設 サニーパレス京橋（民間介護付有料老人ホーム）

確保床数 2床

対象者 要介護4または5で区内特別養護老人ホームの入所待機者

利用者数 8人

利用日数 延546日

イ 介護者が急病や著しい心身の疲労等で介護にあたれない場合における、緊急の短期入所サービスを新たに民間委託により実施した。これにより、区立特別養護老人ホームのショートステイ利用枠を2床分新たに確保した。

開 始 日	平成24年6月1日
利用施設	サニーパレス京橋（民間介護付有料老人ホーム）
確保床数	3床（うち1床は医療ニーズの高い方対応枠）
対 象 者	要介護または要支援の在宅療養者
利用者数	37人（うち12人は医療ニーズの高い方）
利用日数	延252日（うち内82日は医療ニーズの高い方）

(15) 巡回型ホームヘルプサービス

[決算額 72,152千円]

ア 24時間対応型

区が介護保険の訪問介護事業所として指定を受け、要介護者等のいる家庭に対して24時間巡回型ホームヘルプサービスを実施した。

利用者数 延429人（高齢者385人、障害者44人）

イ ナイトサポート

区が介護保険の夜間対応型訪問介護事業所として指定を受け、要介護者のいる家庭を対象に夜間における定期巡回および緊急の要請に応じた相談・アドバイスを行うとともに、必要に応じて介護福祉士等を利用者宅へ派遣した。

利用者数 延713人

(16) 高齢者生活援助サービス

[決算額 12,246千円]

要支援・要介護と認定された高齢者に対して、生活援助および院内介助のため、民間事業者ヘルパーを派遣した。

生活援助派遣世帯数 388世帯（派遣回数 延4,207回）

院内介助派遣世帯数 209世帯（派遣回数 延1,600回）

(17) 高齢者の住宅への家具類転倒防止器具の取付

[決算額 2,070千円]

家具類の転倒を防止し、生命の安全と財産の保全を図ることを目的として、緊急時の対応が困難な65歳以上の高齢者の住宅に、家具類転倒防止器具の取付を行った。

平成24年度は、新たに扉開放防止器具を加え転倒防止器具を9種類とした。

費用負担 4個までは器具および取付費用の1割（住民税非課税者は無料）

設置者数 76人

器具取付個数 298個

(18) 敬老買物券等の贈呈

[決算額 103,971千円]

70歳以上の高齢者の長寿を祝し、年齢に応じて区内共通買物券等を贈呈した。

贈呈者数 14,772人

○ 健やかな子どもを育むために

* 子育て・青少年健全育成

(1) 出産支援事業 [決算額 102,617千円]

ア 出産支援祝品

妊娠中の方に対し、通院等の経済的・身体的な負担を軽減するため、出産支援祝品（タクシー利用券3万円分）を贈呈した。

贈呈件数 1,984件

イ 新生児誕生祝品

新たな区民の誕生を祝福し、その健やかな成長を支援するため、新生児誕生祝品（区内共通買物券3万円分）を贈呈した。

贈呈件数 1,506件

(2) 子どもの居場所「プレディ」の拡大 [決算額 173,411千円]

子どもの健全育成を図るため、放課後などに子どもが安全に安心して過ごせる子どもの居場所「プレディ」を開設している。

既設の小学校8校に加え、平成24年4月に「プレディ久松」を開設した。

(3) 放課後子ども広場中央の開設 [決算額 13,970千円]

子どもの健全育成を図るため、放課後などに子どもが安全に安心して過ごせる子どもの居場所として、プレディに準じた「放課後子ども広場」を平成24年10月に中央小学校内に開設した。

(4) 晴海児童館・晴海こども園の整備・開設 [決算額 1,109,033千円]

人口が急増している晴海地区に、中学生や高校生のニーズにも対応した児童館と、保育所機能と幼稚園機能をあわせ持ち区立としては本区初となる認定こども園（定員150人）を併設した複合施設を開設した。

所在地 中央区晴海2丁目4番31号

施設内容

- ・児童館 工作展示室、図書室、スタジオ、学童クラブ室、体育室等
- ・こども園 保育室、遊戯室、調理室、子育て支援室

開館（園）日

- ・児童館 通年開館（こどもの日以外の祝日、年末年始を除く。）
- ・こども園 月曜日から土曜日まで（祝日、年末年始を除く。）

開設日 平成24年12月1日

(5) 学童クラブ指導時間・延長指導の拡充

[決算額 ー 千円]

区内児童館で実施している学童クラブの指導時間を拡大するとともに、延長指導については、定期的な利用だけでなく保護者の急用等へも対応可能となる「スポット利用制度」を導入した。

ア 指導時間の拡大

通常指導時間（月曜日から金曜日） 放課後～午後5時 → 放課後～午後6時

通常指導時間（学校休業日） 午前9時～午後5時 → 午前8時30分～午後6時

通常指導時間（土曜日） 午前9時～午後5時 → 午前8時30分～午後5時

延長指導時間（月曜日～金曜日・学校休業日）

午後5時～午後6時 → 午後6時～午後7時30分

イ 延長指導のスポット利用制度の導入

延長指導時間（月曜日～金曜日・学校休業日） 午後6時～午後7時30分

ウ 延長指導（スポット利用）料金 1回400円（1カ月の上限5,000円）

(6) 子どもショートステイ

[決算額 6,302千円]

保護者の疾病等により養育が困難になった場合に、区が委託した施設等で児童を預かる子どもショートステイ事業を実施した。

対象児童

・乳児院 生後7日目～2歳

・児童養護施設 2歳～中学3年生

・協力家庭 2歳～小学6年生

利用期間

・乳児院、児童養護施設 原則7日（6泊7日）以内

・協力家庭 原則3日（2泊3日）以内

(7) 認可外保育施設保育料の助成

[決算額 201,488千円]

認証保育所等の認可外保育施設に子どもを預けている保護者に対し、施設へ支払う保育料の一部を認可保育所保育料との差額に応じて助成することにより、保護者の経済的負担の軽減を図った。

助成額 差額に応じ、月額1万円から5万円

助成件数 延 7,764件

(8) 子ども医療費助成

[決算額 493,414千円]

乳幼児および小・中学生の医療費（通院・入院）を助成した。

医療証発行状況（平成25年3月31日現在）

- ・乳幼児医療証（対象：乳幼児） 8,355人
- ・子ども医療証（対象：小・中学生） 6,730人

助成件数

- ・乳幼児医療 169,251件
- ・子ども医療 96,891件

(9) 私立認可保育所の開設準備経費助成

[決算額 83,254千円]

保育所待機児童の解消に向けた対策として、私立認可保育所を開設する事業者に対して、開設準備経費の一部を助成した。

名 称	ほっぺるランド日本橋堀留町
所 在 地	中央区日本橋堀留町2丁目8番4号 日本橋コアビル1階
運営事業者	株式会社 テノ・コーポレーション
定 員	0～5歳児 合計70名
開 設 日	平成25年4月1日

○ 思いやりとふれあいのあるまちのために

* 男女共同参画

(1) 男女共同参画行動計画の策定

[決算額 5,797千円]

「中央区男女共同参画行動計画2008」の計画期間が終了することから、今後5年間の基本的方向性を示すとともに、家事・子育て・介護への男性の参画促進や女性の視点を取り入れた防災体制の推進など新たな課題にも的確に対応しながら施策を総合的、効果的に推進するため「中央区男女共同参画行動計画2013」を策定した。

計画期間 平成25年度～平成29年度

2 うるおいのある安全で快適なまちをめざして

○ 住みやすい環境づくり

* 公園・緑地・水辺

(1) 民間施設の緑化助成 [決算額 9,540千円]

みどり豊かな都市景観の創出やヒートアイランド現象の緩和などを目的として、接道部、地上部および建物の屋上等を一定の割合で緑化するよう指導するとともに、緑化に要する経費の一部を助成した。

緑化助成 10件

樹木等保護育成助成 2件

(2) 公共施設の緑化推進 [決算額 23,214 千円]

中央区緑の基本計画に基づき、区施設の緑化工事を行った。

ア ハイテクセンター等複合施設（639千円）

壁面緑化 276㎡

イ 銀座中学校（22,575千円）

屋上緑化 220㎡

(3) 街路樹の整備 [決算額 22,418千円]

道路整備にあわせて、街路樹の新規植栽、多層化・連続化、樹種変更など、緑の量的拡大および質的向上を図った。また、台風により倒木した街路樹の復旧において、地域の意向を踏まえた樹種変更を行った。

ア 街路環境（シンボルロード）の整備（多層化・連続化、樹種変更）

整備箇所 中央区日本橋馬喰町1丁目8番先～日本橋横山町4番先

多層化・連続化 中木 キンモクセイ 44本、低木 ツツジ 723株

樹種変更 高木 ユリノキ 22本

イ 人にやさしい歩行環境の整備（新規植栽）

整備箇所 中央区日本橋本町4丁目1番先～6番先

高木植栽 オカメザクラ 14本

ウ 植栽復旧工事（植栽復旧、樹種変更）

整備箇所 中央区管内

植栽復旧 高木 スズカケノキ 7本、シダレヤナギ 1本

樹種変更 高木 サルスベリ 55本、シデコブシ 17本、シラカシ 9本

(4) 公園・児童遊園の改修

[決算額 75,915千円]

区民のレクリエーションや憩いの場等を充実させるため、公園の改修を行った。

ア 明石町河岸公園の改修

整備箇所 中央区明石町14番

施工面積 約4,071㎡

整備内容 園路広場工 1式、デッキ階段工 1カ所

かまどベンチ 2基、ソーラー照明(LED) 1基、かまどスツール 2基、
パーゴラ 1基、縁台(収納庫) 1基、防災井戸 1基、マンホールトイレ 5基

高木植栽 ハナミズキ 2本

中低木植栽 ハナモモ 4本、ヒメサザンカ 3本、クチナシほか 1,570株

地被植栽 タマリユウ、張芝 91.6㎡

完 成 平成25年3月

イ あやめ第二公園の改修

整備箇所 中央区日本橋中洲13番1号

施工面積 約3,512㎡

整備内容 多目的広場(キャッチボール場)改修工 1式

カラー舗装工 527.2㎡、かまどベンチ 2基

中低木植栽 イヌマキ 7本

地被植栽 ヤブラン、ジャスミン 580株

完 成 平成25年3月

○ 地球にやさしい環境づくり

* 環境保全

(1) 中央区エコタウン構想の推進

[決算額 6,600千円]

環境に配慮するだけでなく、地区全体の魅力や価値を高め、経済活動やさまざまな活動が活性化したより暮らしやすいまちを目指して「中央区エコタウン構想」に基づく各種調査等を実施した。

ア 「中央区エコタウン構想」冊子の発行

東京駅前地区 300部

晴海地区 300部

イ 「中央区エコタウン構想」策定報告会の開催

東京駅前地区 1回

晴海地区 1回

ウ 調査内容

- ・地区のエネルギー利用実態の把握に関する調査

エネルギー分野にかかわる取組を進めるため、各地区のエネルギーの利用実態を把握するとともに、推進方策についての調査を実施した。

- ・コミュニティサイクル導入に向けた基礎検討調査

自転車による移動を促すとともに放置自転車削減、観光振興などを図るため、コミュニティサイクルの導入に関する基礎検討調査を実施した。

(2) 中央区子ども環境サミットの開催

[決算額 1,105千円]

環境教育のより一層の推進を図るため、区立中学校4校および日本橋女学館中学校の2年生による「中央区子ども環境サミット」を実施した。サミットでは、各校の代表生徒による環境をテーマとしたプレゼンテーションや、特別講師による公開授業などを行った。

実施日 平成24年7月14日

会 場 銀座ブロッサム（中央会館）ホール

(3) 環境情報センターの開設準備

[決算額 3,464千円]

地球温暖化などの環境問題に対する積極的な取組を広く発信するために「環境情報の提供」や「環境活動の場と機会の提供」の拠点となる環境情報センターの開設に向けた準備を行った。

施設概要

開設場所 中央区京橋3丁目1番1号 東京スクエアガーデン6階
京橋環境ステーション内

面 積 約410m²

施設内容 ・展示情報コーナー
・研修室（2室）
・交流室

開 設 日 平成25年6月2日

(4) 未利用エネルギーに関する調査 [決算額 4,988千円]

中央清掃工場の排熱やバイオマスエネルギーなどの未利用エネルギーについて調査を実施し、事業化の可能性や導入課題を取りまとめた。

庁内ワーキンググループの開催

開催回数 4回

(5) 中央区の森 [決算額 15,603千円]

広域的な視点からの地球温暖化防止事業として、檜原村数馬地区の「中央区の森」において森林保全活動の支援を行うとともに、新たに南郷地区において檜原村と協定を結び森林保全活動を開始した。また、区民・事業者の「中央区の森」事業への理解を深めるとともに、自然体験を通して環境意識の向上を図るため、体験ツアーを実施したほか「中央区の森MAP」を作成し、広報の充実を図った。

ア 森林保全活動

数馬地区 37.4haのうち2.3ha（累計22.0ha）

南郷地区 4.9haのうち1.0ha

イ 「中央区の森」体験ツアー

実施回数 2回

参加者数 57人

ウ 「中央区の森MAP」

作成部数 2,000部

(6) 低公害車の普及促進 [決算額 3,793千円]

自動車公害対策、地球温暖化対策の一環として、電気自動車の普及を図るため、区民・中小企業者の電気自動車・プラグインハイブリッド自動車の購入に対して費用の一部を助成するとともに、区役所本庁舎など3カ所の駐車場に設置した電気エコ（急速充電）スタンドを無料で一般に開放した。

購入費助成 4件

電気エコスタンド利用実績（充電回数） 区役所附属駐車場 4,080回

浜町公園地下駐車場 2,198回

月島駐車場 705回

(7) 区施設における太陽光発電設備の設置 [決算額 30,765千円]

使用する電力を再生可能エネルギーで補い、温室効果ガスの排出を抑制することにより、地球温暖化対策および電力不足対策の一助とするため、区施設に太陽光発電設備を設置した。

設置施設

ハイテクセンター等複合施設 約20kW

(8) 自然エネルギーおよび省エネルギー機器等導入費助成 [決算額 26,614千円]

地球温暖化対策として、自然エネルギー・省エネルギー機器等の普及を促進するため、区内の住宅および事業所の機器導入に対して費用の助成を行った。

助成実績

・住宅用

太陽光発電システム	6件
高効率給湯器	119件
高反射率塗料等	12件

・事業所用

太陽光発電システム	1件
高効率給湯器	4件
エアコンディショナー	17件
照明器具（ＬＥＤ等）	44件
厨房機器	3件
高反射率塗料等	4件
その他の省エネルギー機器	1件

(9) 照明のＬＥＤ化 [決算額 29,211千円]

地球温暖化対策の一環として、環境に配慮したＬＥＤ灯を区立公園や区道等に導入した。

公園灯	25基（石川島公園）
街路灯	42基（新川、日本橋茅場町、日本橋本町、佃）
ライトアップ用照明灯	4基（平和の鐘）

(10) 「中央区の森」の間伐材を活用したベンチ整備 [決算額 2,208千円]

「中央区の森」の間伐材を活用したベンチを製作し、公園に整備した。

整備実績

築地川亀井橋公園	5基
佃公園	5基

(11) 地域クリーンパトロールの展開 [決算額 37,560千円]

歩きたばこやポイ捨てを防止するため、主要交差点や駅周辺を中心とした区内全域において巡回指導を行った。また、歩きたばこが多い交差点を中心に、町会や事業所等と合同で街頭キャンペーンを実施した。

巡回指導実施日	毎日（年末年始を除く。）	午前6時～午後7時
巡回体制	2人1班の7班体制	
街頭キャンペーン	11回実施	入船橋交差点ほか10カ所

*循環型社会

(1) リサイクル事業の普及・啓発 [決算額 2,167千円]

3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進をはじめ、環境問題全般について、子どもから大人まで楽しみながら学ぶ「エコまつり」を開催した。エコまつりは、環境意識の向上等を図るため、フリーマーケットと同時開催するとともに、区内の小・中学校、保育園等から排出された生ごみの堆肥により栽培した野菜（キャベツ）等の販売ブースを設置した。また、フリーマーケットについては、区内の公園で3回開催した。

ア エコまつり

実施日	平成24年6月3日
会場	中央区保健所、あかつき公園
参加者数	2,200人
実施内容	リサイクル自転車の販売、中央区の森の間伐材を活用したワークショップ等 全19ブース

イ フリーマーケット

会場	あかつき公園（エコまつりと同時開催、58店舗出店）
	月島第二児童公園（平成24年9月29日開催、85店舗出店）
	浜町公園（平成24年11月10日開催、84店舗出店）

(2) 清掃事業の普及・啓発

[決算額 751千円]

清掃・リサイクル事業の普及・啓発を図るため、環境作品コンクールの入選作品を清掃車両に貼付した。

貼付車両	清掃車（直営車）	9台
	清掃車（委託車等）	21台

(3) 資源持ち去り防止対策

[決算額 7,234千円]

区民が安心して資源物を排出できる環境を確保するため、資源持ち去り防止パトロールを実施した。

また、集積所（資源回収用コンテナ）に持ち去り禁止看板を設置するとともに、持ち去り防止の新聞回収袋を区役所、中央清掃事務所、日本橋・月島特別出張所、京橋・日本橋・月島図書館で配布した。

パトロール実施日	月曜日～土曜日（年末年始を除く。）
新聞回収袋作成枚数	34,000枚

(4) 資源再利用（リサイクル）の推進

[決算額 509,291千円]

ア 集団回収の支援

地域のリサイクル活動を推進するため、リサイクル活動団体に対する助成を行った。

登録団体数	207団体
回収実績	4,470,565kg

イ 拠点回収

資源物をリサイクルしやすいように公共施設等に資源の回収箱を設置している。公共施設では牛乳パック、食品用発泡スチロールトレイ、乾電池、布類の回収を行ったほか、毎週土曜日に全小学校および銀座・日本橋中学校で廃食用油、布類、牛乳パック、食品用発泡スチロールトレイ、蛍光灯、乾電池の回収を行った。また、回収協力店でペットボトルの回収を行った。

回収実績	178,368kg
------	-----------

ウ 集積所回収

集積所で紙類、びん、缶（スプレー缶・カセットコンロ用ガスボンベを含む。）、ペットボトル、プラスチック製容器包装、金属製のなべ・やかん・フライパンの回収を行った。

回収実績	6,181,160kg
------	-------------

(5) 土のリサイクル

[決算額 2,706千円]

家庭で不用になった園芸用土の拠点回収を全小学校および銀座・日本橋中学校で実施するとともに、再生した土は苗木即売会等で無償配布した。

回収実績 9,139kg

配布実績 8,970kg

○ 都心にふさわしい都市の基盤づくり

* 道路・交通

(1) 人にやさしい歩行環境の整備

[決算額 58,573千円]

高齢者や障害のある方などを含むすべての人が、安全で快適に利用できるように、歩道拡幅やバリアフリー整備を行うとともに、街路照明や街路樹等の整備を行った。

整備路線

ア 中央区銀座2丁目8番先～9番先

整備内容 歩道拡幅および平坦化 整備延長 130m

街路照明整備（デザイン灯） 4基

イ 中央区日本橋本石町4丁目6番先～日本橋室町4丁目3番先

整備内容 歩道拡幅および平坦化 整備延長 190m

街路照明整備（デザイン灯） 8基

ウ 中央区日本橋本町4丁目1番先～6番先

整備内容 高木植栽（オカメザクラ） 14本

(2) 小田原橋の撤去および駐車場代替施設の整備

[決算額 94,890千円]

道路の平坦化により、安全で円滑な交通環境を確保するため、道路下に残存する小田原橋の撤去工事を行うとともに、小田原橋臨時駐車場の廃止に伴い、代替施設の整備を行った。

ア 小田原橋

所在地 中央区築地4丁目14番先～築地6丁目27番先

実施内容 撤去工事

イ 小田原橋臨時駐車場代替施設（海幸橋臨時駐車場）

所在地 中央区築地6丁目27番先

実施内容 区画線設置工、車止め工

(3) 街路環境（シンボルロード）の整備 [決算額 91,458千円]

広幅員の道路を交通の空間としてのみならず、やすらぎやうるおいのある魅力的な空間として整備し、地域の生活環境の充実を図った。

整備路線 中央区日本橋馬喰町1丁目8番先～日本橋横山町4番先

整備延長	270m	歩道整備（カラー舗装）	1,215㎡
街路照明整備（デザイン灯）	9基	高木植栽（ユリノキ）	22本
中木植栽（キンモクセイ）	44本	低木植栽（ヒラドツツジ）	723株

(4) 自動二輪車駐車場の整備 [決算額 2,733千円]

自動二輪車による路上駐車 of 減少を図るため、駐車場の一部を転用し、自動二輪車駐車場を増設した。

整備場所 浜町公園地下駐車場

整備内容 自動二輪車駐車場16台

(5) コミュニティバス（江戸バス）の運行 [決算額 108,504千円]

地域内・地域間を結ぶ公共交通を補完し、区内交通不便エリアの解消および公共施設の利便性向上を図るため、平成21年12月1日からコミュニティバス（江戸バス）を運行している。

平成24年度は、特色あるバスマップ（桜マップおよびストーンペーパーを使用したルート変更周知用バスマップ）を作成し、利用促進に努めた。

また、平成24年7月14日から、湊・入船を運行ルートに加え、新富二丁目で南北の乗り継ぎを可能にするるとともに、土・日・祝日の銀座方面へのルート延伸を実施し、利便性向上を図った。

運賃 100円（未就学児は無料）

運行ルート 北循環ルート、南循環ルート

運行時間 北循環ルート

平日 午前7時 ～ 午後6時40分

土曜日 午前6時58分 ～ 午後6時38分

日曜日・祝日 午前7時58分 ～ 午後6時38分

南循環ルート

平日・土曜日 午前7時 ～ 午後6時40分

日曜日・祝日 午前8時 ～ 午後6時40分

※いずれも中央区役所発車時刻

停留所 67カ所

乗車実績 延481,775人（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(6) 電線共同溝の整備

[決算額 241,215千円]

災害に強い都市基盤の整備や、安全で円滑な道路交通の確保、都市景観の向上を図るため、電線共同溝の整備を行った。

ア 整備地区

- ・中央区日本橋室町4丁目・日本橋本町4丁目地区

実施内容 引込・連系管路工事

整備延長 150m

- ・中央区日本橋本石町4丁目・日本橋室町4丁目地区

実施内容 本体整備、移設補償

整備延長 190m

- ・中央区日本橋本町2丁目3番先～5番先

実施内容 本体整備、移設補償

整備延長 100m

イ 設 計

- ・中央区日本橋茅場町1丁目8番先～日本橋茅場町2丁目10番先

実施内容 詳細設計・埋設物調査

- ・中央区日本橋本石町4丁目6番先～日本橋室町4丁目3番先

実施内容 詳細設計

- ・中央区月島4丁目15番先～20番先

実施内容 予備設計

- ・中央区勝どき2丁目1番先～3番先

実施内容 予備設計

(7) 歩行者専用橋の整備

[決算額 63,431千円]

晴海通り（黎明橋およびトリトnbrリッジ周辺）における歩道の混雑緩和や災害時の避難路確保を図るため、朝潮運河歩行者専用橋の設計を行った。

整備予定箇所 中央区月島4丁目19番先～晴海1丁目8番先

中央区勝どき2丁目2番先～晴海1丁目8番先

実施内容 詳細設計

(8) 橋りょうの架替

[決算額 576,535千円]

ア 西仲橋

健全度調査により架替が必要な西仲橋について、下部および上部工事を行った。

所 在 地 中央区月島3丁目31番先～勝どき1丁目2番先

実施内容 下部工事、上部工事

イ 新島橋

架替工事に先行して、公衆便所および児童遊園を撤去するとともに、仮設橋りょうの設置、用地の取得を行った。

所 在 地 中央区勝どき4丁目13番先～勝どき5丁目2番先

実施内容 公衆便所および児童遊園撤去工事、仮設橋りょう設置工事、用地取得

(9) 基幹的交通システム導入に関する調査

[決算額 15,364千円]

平成24年6月に策定された「中央区総合交通計画」の施策の一つに位置付けられている基幹的交通システムの導入に向けて、中央区地域公共交通会議の下に、学識経験者、道路管理者、交通管理者、交通事業者、地域住民、関係行政機関、区職員で構成される基幹的交通システム部会を設け、区の基本的な考え方をまとめた。

基幹的交通システム部会の開催

開催回数 4回

検討項目 導入ルートの検討

需要予測

収支採算性の検討

事業運営の基本的枠組みの検討

(10) 新月島川の護岸整備

[決算額 102,900千円]

東京都による環状第2号線の整備工事にあわせて、新月島川沿いの区緑地帯の護岸整備を行った。

整備箇所 中央区勝どき6丁目2番先

整備延長 28.7m

(11) にぎわいのある道路の整備

[決算額 50,906千円]

商業・観光振興に資するにぎわいを創出する道路空間の整備を行った。

整備路線

ア 中央区日本橋横山町4番先～東日本橋3丁目3番先

整備延長 110m 車道カラー舗装 761m²

イ 中央区東日本橋3丁目9番先～10番先

整備延長 90m 車道カラー舗装 555m²

(12) 環境にやさしい道路の整備

[決算額 125,787千円]

道路交通による騒音の抑制や雨水の地中への還元、ヒートアイランド現象の緩和などに効果がある環境にやさしい道路整備を行った。

整備路線

ア 低騒音舗装

- ・中央区日本橋小伝馬町12番先～日本橋堀留町1丁目10番先

整備延長 300m 車道舗装 4,055m²

- ・中央区日本橋馬喰町1丁目8番先～日本橋横山町4番先

整備延長 267m 車道舗装 3,665m²

イ 遮熱性舗装

- ・中央区日本橋堀留町2丁目2番先～日本橋人形町3丁目7番先

整備延長 222m 車道舗装 2,722m²

- ・中央区東日本橋3丁目6番先～10番先

整備延長 164m 車道舗装 1,949m²

ウ 透水性舗装

- ・中央区銀座1丁目3番先

整備延長 56m 車道舗装 97m²

- ・中央区入船1丁目2番先～7番先

整備延長 172m 車道舗装 355m²

(13) 橋りょうの健全度調査

[決算額 18,711千円]

橋りょうの安全性確保を図るための定期的な調査として、老朽度や交通量など健全度調査を行った。なお、その結果については長寿命化修繕工事等に反映している。

ア 調査橋りょう

宝橋、久安橋、新場橋、南高橋、佃小橋、朝潮橋

イ 調査内容

現地踏査、外観目視調査、打音調査、交通量調査

(14) 橋りょう長寿命化修繕工事

[決算額 117,810千円]

橋りょうの安全性の確保や長寿命化を図るため「中央区橋りょう長寿命化修繕計画」に基づき、橋りょうの修繕工事を行った。

ア 南高橋

所在地 中央区新川2丁目31番先～湊1丁目8番先

実施内容 塗装工、歩道舗装工、橋面防水工

イ 柳橋

所在地 中央区東日本橋2丁目27番先～台東区柳橋1丁目1番先

実施内容 橋面防水工、車道舗装工、伸縮装置工

ウ 三吉橋

所在地 中央区築地1丁目1番先～銀座1丁目28番先

実施内容 橋面防水工、車道舗装工、すべり止め工

(15) 自転車事故再現による交通安全教室

[決算額 788千円]

スタントマンを活用した交通事故の再現を通して、自転車の法令違反による事故の危険性を視覚的に理解させながら、正しい自転車の乗り方を学んでもらう自転車安全教室を実施した。

開催回数 3回

開催場所 堀留児童公園 9月27日

銀座中学校 9月21日

佃中学校 10月16日

* 防災・危機管理

(1) 地域防災計画の修正

[決算額 12,201千円]

東日本大震災を踏まえ、東京都が平成24年4月に公表した「首都直下地震等による東京の被害想定」に基づく中央区の新たな被害想定に対してその対策を講じるため、死者の6割減、住宅からの避難者の4割減、建築物の全壊棟数の6割減を新たな減災目標として掲げ、平成25年2月に中央区防災会議において、地域防災計画を修正した。

印刷部数	中央区地域防災計画(平成25年修正)	600部
	中央区地域防災計画(平成25年修正)資料編	600部
	中央区地域防災計画(概要版)	10,000部
	中央区地域防災計画(概要版)英語版	1,000部

(2) 防災拠点運営委員会への支援

[決算額 11,729千円]

災害時の円滑な防災拠点の運営や、平常時の防災対策を推進するため「防災拠点運営委員会」(21委員会)の活動を支援した。

運営支援

- ・委員会開催(21委員会) 85回
- ・防災拠点活動マニュアルの更新
5拠点(中央小学校、明石小学校、明正小学校、月島第三小学校、豊海小学校)
- ・拠点ごとの住民向け防災拠点のお知らせ作成・配布(21委員会)
- ・防災拠点運営委員会連絡会議 1回

(3) 防災拠点運営委員会訓練

[決算額 13,174千円]

地域の防災拠点運営委員会が自ら企画して実施する防災訓練を支援した。

実施場所	各防災拠点(21委員会)
参加者数	3,506人
主な訓練内容	避難所開設・運営訓練、初期消火・放水訓練、資器材操作訓練、 AED・応急救護訓練、起震車による地震体験等

(4) 防災拠点備蓄品の整備

[決算額 43,576千円]

東日本大震災の教訓や防災拠点における避難所開設・運営訓練の経験を参考に、資器材の新規購入や充実、更新を行った。

ア 新規購入

- ・ワイヤレスマイク 23台（防災拠点 各1）
- ・防災伝言シート 27組（防災拠点・副拠点 各1）
- ・LEDヘッドライト 290個（防災拠点 各10、副拠点 各5、備蓄倉庫等 40）
- ・LEDランタン 212個（防災拠点 各8、副拠点 各4、備蓄倉庫等 12）
- ・食品用ラップ 1,160本（防災拠点 各40～60）
- ・簡易トイレ用凝固剤 850箱（防災拠点 各105～210）
- ・歯ブラシ 28,000本（備蓄倉庫）
- ・歯磨き粉 27,000本（備蓄倉庫）

イ 充実

- ・鍋 230個（防災拠点 各10）
- ・やかん 230個（防災拠点 各10）
- ・フォーク・スプーン・箸セット 28,500組（防災拠点 各700～1,500）

ウ 更新

- ・LED大型ライト 30本（防災拠点・副拠点 各1、防災活動資器材庫 3）
- ・LEDライト 820本（防災拠点 各20、副拠点 各10、備蓄倉庫等 320）
- ・布粘着テープ 246巻（防災拠点 各10、副拠点 各4）
- ・防災マッチ 435缶（防災拠点 各15～20、副拠点 各5）

(5) 防災パンフレットの作成

[決算額 8,974千円]

区民や事業所に向けたパンフレットを作成し、防災知識等の普及・啓発を図った。なお、「わが家わがまちの地震防災」については、全面的な見直しを行い、全世帯へ配布した。

ア 新規

事業所防災パンフレット「あなたのオフィスは大丈夫!？」（10,000部）

イ 更新

区民向け防災パンフレット「わが家わがまちの地震防災」（81,000部）

ウ 増刷

- ・洪水ハザードマップ（4,000部）
- ・中央区防災マップ（5,000部）
- ・高層住宅防災対策パンフレット「揺れる高層住宅！その時あなたは・・・」（10,000部）
- ・社員防災啓発パンフレット「オフィスサバイバルBOOK」（10,000部）

(6) 地域防災無線・防災行政無線の新設・移設

[決算額 12,512千円]

区施設の開設・改修に伴い、地域防災無線の新設・移設を行うとともに、帰宅困難者一時待機施設との円滑な情報連絡態勢を整備するため、同施設への設置を行った。

また、確実な通信手段としての確保を図るため、災害に関する緊急情報や避難勧告等の情報を区から直接区民にお知らせする防災行政無線の新設・移設を行った。

ア 地域防災無線

- ・新設 3局（晴海こども園、晴海児童館、清水建設株式会社本社ビル）
- ・移設 3局（明石小学校仮校舎から明石小学校新校舎へ1局、明正小学校から中央小学校へ2局移設）

イ 防災行政無線

- ・新設 1局（晴海臨海公園）
- ・移設 3局（鉄砲洲児童公園から中央小学校、明正小学校から越前堀児童公園、黎明橋公園内移設）

(7) 緊急告知ラジオの有償頒布

[決算額 92,088千円]

防災行政無線の補完手段として、地域コミュニティFM（中央エフエム）を活用して緊急情報等が受信できる「緊急告知ラジオ」を区民1世帯につき1台千円で有償頒布した。また、ラジオが聞きづらい住宅に対するアンテナ設置工事費の助成を行った。

ア 緊急告知ラジオの有償頒布

- ・巡回販売
 - 会 場 区役所、日本橋特別出張所、月島特別出張所
 - 時 期 5月、7月、10月（各月・各会場4日間）
- ・その他の頒布
 - 5月から防災危機管理センターで随時頒布したほか、9月の総合防災訓練でも頒布
- ・頒布台数
 - 6,569台

イ 工事費助成

アンテナ設置工事 5件

(8) 高層住宅防災対策

[決算額 3,959千円]

ア 高層住宅防災対策

高層住宅ごとの設備や居住者の状況などを調査し、大地震によりライフラインやエレベーターが停止した際に活用する震災時活動マニュアルの作成を支援した。

マニュアルの作成支援 3棟

イ マンション管理組合等防災対策支援

区内マンションの管理組合等が、防災対策を進めていく上での問題点や解決策を学べる防災講習会を開催した。また、マンションの登録制度を導入し、希望するマンションに防災アドバイザーの派遣、防災情報の提供を行った。

・講習会

実施回数 4回

参加者 延112人 (75棟)

・防災アドバイザー派遣

派遣回数 24回 (10棟)

(9) 生活再建支援システムの導入

[決算額 11,887千円]

大規模災害発生時において、区が実施する住家被害認定調査、り災証明発行および生活再建支援を含めた震災復興を円滑に行うため、生活再建支援システムを導入した。

(10) 災害時要援護者対策の推進

[決算額 14,100千円]

ア 災害時要援護者支援体制構築マニュアルの整備

災害時における要援護者の被災想定や、要援護者一人ひとりの個別支援プランの作成方法など、地域における支援体制構築のガイドラインとなるマニュアルを平成25年度までの2カ年で整備する。

平成24年度は、地域特性の異なる2地区をモデル地区として選定し、ワークショップや協議会での検討を通じ「地域のための災害時要援護者支援体制構築マニュアル」を整備するための基礎となるモデルマニュアルを作成した。

イ 福祉避難所マニュアルの改定

地域防災計画の修正および「地域のための災害時要援護者支援体制構築マニュアル」の整備にあわせ、要介護者や障害のある方等を受け入れる福祉避難所の開設・運営に関するマニュアルを改定し、その内容を踏まえた福祉避難所の開設訓練を実施した。

(11) 中学校防災ヘルメットの配備 [決算額 1,084千円]

大地震等発災後、中学生については、原則として教職員の安全確認・指示のもと帰宅することとしているが、余震対応も含め帰宅途中の安全を確保するため、防災ヘルメットを全区立中学校に配備した。

学校での実践的な避難訓練や防災教育の中で活用することにより、防災意識を高めるとともに災害時のボランティア活動など地域の安全に貢献できる中学生の育成を図っている。

配備個数 1,500個

(12) 事業所防災対策DVD等の制作 [決算額 7,056千円]

大地震が発生した時の緊急対応、初動活動、事業所内での待機や帰宅者への対応および事業継続等の対応について、わかりやすく映像化したDVDを作成した。

(13) 帰宅困難者対策協議会設立支援 [決算額 7,605千円]

大規模開発における「帰宅困難者一時滞在スペース」「防災備蓄倉庫」等を地域の事業者が主体となり連携し、有効かつ円滑に運用するための「帰宅困難者支援施設運営協議会」を平成24年10月23日に設立し、運営支援を行った。

準備会の開催	3回
分科会の開催	2回
勉強会の開催	1回
帰宅困難者支援施設運営協議会の開催	1回

(14) 住宅・建築物の耐震化助成

[決算額 997,887千円]

昭和56年の建築基準法改正以前の建築物の耐震性を向上するため、木造住宅および業務商業建築物等の耐震改修費用の一部または全額を助成した。また、災害時における物資輸送路等を確保するため、緊急輸送道路沿道等の建築物および都条例を踏まえ特定緊急輸送道路沿道建築物についても耐震改修費用の一部または全額を助成し、耐震化の促進を図った。

さらに、一般社団法人東京都建築士事務所協会中央支部・社団法人東京中小建築業協会中央支部・特定非営利活動法人地域の防災と町づくりを研究する会と区で運営する耐震促進協議会により、建築物の耐震性総点検や相談窓口の設置など耐震化を促進していくための活動を行っている。

ア 民間建築物の耐震改修等に要する費用の助成

・木造建築物

住宅	耐震診断・補強計画	79件（15,780千円）
	耐震補強工事	29件（82,531千円）
	簡易補強工事	28件（37,701千円）
業務商業建築物	耐震診断・補強計画	2件（513千円）

・木造以外の建築物

住宅	耐震診断	4件（1,889千円）
分譲マンション	耐震診断	2件（4,000千円）
賃貸マンション	耐震診断	1件（1,736千円）
業務商業建築物	耐震診断	11件（5,437千円）
住宅	補強設計	2件（997千円）
賃貸マンション	補強設計	1件（1,000千円）

・緊急輸送道路沿道等の建築物（木造以外の建築物）

分譲マンション	耐震診断	2件（4,898千円）
業務商業建築物	耐震診断	5件（5,000千円）

・特定緊急輸送道路沿道の建築物（木造以外の建築物）

耐震診断	118件（521,505千円）
補強設計	13件（31,779千円）
補強工事	3件（146,179千円）
建替え	3件（118,760千円）

イ 耐震促進協議会

活動内容	外観目視による住宅等の建築物の耐震性総点検
	耐震化相談窓口の設置
	耐震化に関するセミナーの開催 2回

(15) 災害時対応型公衆便所の整備 [決算額 39,950千円]

公衆便所を改修するとともに、地震等によりライフラインが停止した場合でも利用可能な地下ピット式の構造に整備した。

黎明橋公園内公衆便所

所在地 中央区晴海3丁目1番6号

完 成 平成25年3月

(16) 暴力団排除に向けた取組の実施 [決算額 334千円]

暴力団と交際しないこと、暴力団を恐れないこと、暴力団に資金を提供しないこと、暴力団を利用しないことを基本理念とする中央区暴力団排除条例を平成24年4月1日に施行し、区民、事業者、警察署等と連携しながら、地域社会で暴力団排除を進めていくため、普及・啓発を推進した。

ア 暴力団排除条例制定・施行セレモニー

実施日 平成24年4月1日

場 所 数寄屋橋公園

イ 啓発用ポケットティッシュ（10,000個）、ステッカー（4,000枚）の作成

区内4警察署や事業所等に配布

ウ 暴力団排除条例講習会（職員向け）

実 施 日 平成24年6月11日

場 所 区役所大会議室

参加者数 46名

(17) 安全・安心おまかせ出前相談と住まいの防犯対策助成 [決算額 143千円]

個人の住まいに防犯アドバイザーを派遣し、防犯に関する相談を受け、助言・指導を行った。また、安全・安心おまかせ出前相談を受けた区民が、防犯アドバイザーのアドバイスに沿って、住居の玄関・窓などに防犯対策を行った場合に、その費用の1/2（上限額1万円）を助成した。

防犯アドバイザー派遣件数 4件

防犯対策助成件数 5件

(18) 共同住宅等生活安全(防犯)アドバイザーの派遣と防犯設備整備費助成

[決算額 23,408千円]

町会・自治会、商店会およびマンション管理組合等に防犯アドバイザーを派遣し、周辺環境の説明や防犯に関する相談を受け、助言・指導を行った。また、防犯アドバイザーのアドバイスに沿って防犯設備を整備した場合に、町会・自治会にはその費用の2/3（上限額200万円）を、商店会（ただし、町会・自治会と協力して実施した場合に限る。）にはその費用の2/3（上限額600万円）を、マンション管理組合等にはその費用の1/2（上限額50万円）を助成した。

防犯アドバイザー派遣件数 17件

防犯設備整備費助成件数 13件

* 地域整備

(1) 日本橋再生推進協議会の運営と名橋「日本橋」上空の首都高速道路撤去および日本橋川再生に向けたまちづくり調査 [決算額 8,974千円]

日本橋・東京駅前地区における課題の解決を地元を受け入れられる形で実現するとともに、地域と情報を共有しながら、個別開発プロジェクトが相互に連携し、日本橋地域の個性を生かしたまちづくりを進めるため、平成24年度は、検討を続けてきた東京駅前地区におけるまちづくりの考え方を取りまとめた。

また、日本橋上空の首都高速道路の撤去実現に向けた日本橋川河岸街区のオープンスペース化を含むまちづくりについて、日本橋一丁目東地区、八重洲一丁目東地区をモデル地区とし、まちづくりの検討や地権者等の意向調査を通じて具体的に検証し、東京駅前地区の整備との連携を前提とした仕組みづくりを進めている。

日本橋再生推進協議会

開催回数 3回

(2) 築地場外市場地区先行営業施設の整備 [決算額 29,190千円]

平成27年度に予定されている豊洲新市場の完成と、その後の築地市場の移転を踏まえ、市場移転後も食文化の拠点である「築地」の活気とにぎわいを継承し、発展させるため、小田原橋臨時駐車場跡地等に整備する生鮮食料品の店舗施設の設計を行った。

(3) 築地場外市場「食」に関する情報拠点運営費等助成 [決算額 35,000千円]

築地市場移転後のまちづくりに向けて開設された情報拠点「ぷらっと築地」の施設整備および運営に要する経費の一部を助成し、本区において長年蓄積されてきた「食」に関する情報を活用して区内飲食業等の活性化を図った。

助成団体および助成額

・ 築地場外市場商店街振興組合	25,000千円
・ 特定非営利活動法人 築地食のまちづくり協議会	10,000千円

(4) 市街地再開発事業助成 [決算額 4,384,740千円]

市街地における土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新および住宅・住環境の改善を図り、良好な定住型住宅の供給を促進するため、市街地再開発事業者に対し、事業費の一部を助成した。

助成地区および助成額

・ 湊二丁目東地区	29,200千円
・ 月島一丁目3、4、5番地区	1,911,800千円
・ 京橋二丁目西地区	1,026,340千円
・ 勝どき五丁目地区	1,417,400千円

(5) 都市再生土地区画整理事業助成 [決算額 270,000千円]

公共施設の整備改善および宅地利用の増進を図り、合理的かつ健全な土地利用を促進することにより、防災性の向上、土地の有効高度利用等を推進するため、市街地再開発事業と一体的に土地区画整理事業を行う施行者に事業費の一部を助成した。

助成地区および助成額

・ 湊二丁目東地区	270,000千円
-----------	-----------

3 にぎわいとふれあいのある躍動するまちをめざして

○ にぎわいと活力のある産業のまちづくり

* 商店街振興

(1) 観光商業まつり [決算額 52,095千円]

都心における代表的観光商業地区である本区の特性を生かし、区内全商業者が一体となって観光客の誘致を促進するとともに、商業意欲の高揚を図るための各種イベントを実施した。

また、平成24年度は第60回記念事業として、本区の名品を紹介する「東京まん真ん中 味と匠の大中央区展」や区内数カ所に隠された宝箱を探す「宝探しゲーム」のほか「絵画コンクール」「川柳大会」を開催した。

実施期間 平成24年10月1日～11月20日

(2) 共通買物券の発行 [決算額 580,430 千円]

景気対策の一環として、区内の消費を一層刺激して地域経済の活性化を図るため、共通買物券を発行し、一冊1万1千円分（5百円券22枚つづり）を1万円で販売した。

販売日 平成24年6月17日

販売場所 区役所、日本橋区民センター、月島区民センター、勝どき区民館、
晴海区民館

発行総額 5億5千万円

(3) 商店街支援事業補助 [決算額 158,665 千円]

ア イベント事業

商店街が自らの宣伝等を目的として実施する事業に対し、その費用の一部を補助した。

補助件数 38 件

イ ビジョン実現事業

中央区商店街連合会に加盟している商店街が、自ら作成した振興計画に基づき行う事業に対し、その費用の一部を補助した。

補助対象事業

- ・来街者用案内所兼休憩所整備事業 1 商店街

ウ 地域協力事業

中央区商店街連合会に加盟している商店街が、町会・自治会、特定非営利活動法人等と協力して実施する事業に対し、その費用の一部を補助した。

補助対象事業

- ・地域協力イベント事業 4 件
- ・地域協力活性化事業（フリーWi-Fi整備事業） 1 商店街

* 産業振興

(1) 商工業融資

[決算額 3,002,500 千円]

区内中小企業の経営の安定と近代化、合理化を促進し、地域商工業のより一層の振興を図るため、次のとおり各種資金の融資あっ旋、信用保証料補助および利子補給を実施した。

また、都制度融資（経営セーフ・災害緊急・円高セーフ）を利用した小規模企業者に対して、信用保証料の一部を補助（限度額30万円）するとともに、商工会議所の推薦により、日本政策金融公庫が無担保・無保証人で融資する経営改善資金融資（マル経融資）の利子支払額の一部を補助した。

ア 貸付件数および貸付額

制 度 名	件 数	金額（千円）
運転資金融資	168	1,911,200
設備資金融資	28	405,180
小規模企業資金融資	22	185,910
年末特別資金融資	10	30,000
小口資金融資	78	342,070
創造支援資金融資	54	338,240
店舗・工場等小規模再開発資金融資	0	0
災害復旧資金融資	0	0
経営改善支援資金融資	171	1,661,740
団体資金融資	0	0
小規模企業特例緊急運転資金融資	11	27,000
区融資一本化資金融資	8	87,180
小口緊急景気対策特別資金融資	171	763,720
緊急景気対策特別資金融資	802	9,596,810
計	1,523	15,349,050

イ 信用保証料補助

区制度融資分 1,383件 337,664千円

都制度融資分（経営セーフ・災害緊急・円高セーフ）

91件 19,845千円

ウ 利子補給 37,167件 922,648千円

エ 経営改善資金融資利子補助 544件 12,031千円

(2) 中小企業振興補助

[決算額 5,604 千円]

区内中小企業の振興を図るため、ホームページの新規作成・変更に係る経費や、販路拡大のための展示会出展に係る経費の一部を補助した。

ア ホームページ作成費補助（限度額 5 万円）

交付件数 33 件 1,645 千円

イ 展示会等出展費補助（限度額 15 万円）

交付件数 28 件 3,959 千円

(3) 産業文化展

[決算額 32,935 千円]

本区における産業活動について、その歴史的歩みや現状、未来への展望などを広く紹介し、区内産業の振興、発展に寄与するとともに、青少年に対する「地域産業教育」に役立てるためのイベントを実施した。（隔年実施）

実施期間 平成24年11月4日～11月6日

実施場所 晴海トリトンスクエア

来場者数 延44,000人

(4) 日本橋問屋街活性化事業支援

[決算額 5,098 千円]

問屋街活性化委員会が行ってきた活性化事業の実績、成果等を踏まえ、情報発信に関する事業、広報事業、文化服装学院との産学連携による人材育成などの活性化事業に対する支援を行い、日本橋問屋街のさらなる再生と活性化を図った。

主な事業内容

- ・Wi-Fi整備事業
- ・在日中国人向け情報誌へのセール情報等の掲載
- ・講演会・オープンカレッジ等の開催
- ・新聞製作、メディアとの連携強化
- ・ホームページでのイベント案内・売出案内等各種情報の更新や問屋街説明文の英語版および中国語版の掲載
- ・海外研修視察の実施
- ・問屋街商品を使ったスタイリング提案、街角ディスプレイなど文化服装学院との産学連携事業の実施

(5) 中央区工業団体連合会 50 周年記念事業助成 [決算額 7,932 千円]

中央区工業団体連合会創立 50 周年を記念して、その活動状況を区内外に P R する事業等に対して助成した。

実 施 日 平成24 年11 月17 日

会 場 銀座ブロッサム

事業内容 ・ 記念式典
・ 記念講演
・ 記念コンサート
・ 記念誌の作成

(6) 若年者合同就職面接会 [決算額 243 千円]

若年者と求人を希望する企業との合同就職面接会を開催し、若年者の就労の機会を確保するとともに、中小企業の人材確保の場を提供した。

実 施 日 平成24 年11 月28 日

面接者数 延 120 人

求 人 数 29 人

参加企業 15 社

採用者数 4 人

(7) 職業相談・就職ミニ面接会 [決算額 393 千円]

ハローワーク飯田橋との連携により、職業相談および就職ミニ面接会を開催し、区民等の就労支援と雇用の安定化を図った。

実 施 日 毎月第2・4火曜日

面接者数 延64人

参加企業 39社

職業相談件数 77件

インターネット求人検索利用者数 14人

採用者数 10人

(8) 雇用促進奨励金 [決算額 882 千円]

国の緊急雇用対策として実施されている派遣労働者雇用奨励金等にあわせ、区独自の奨励金制度として「派遣労働者雇用安定促進奨励金」「若年者等正規雇用促進奨励金」「既卒者トライアル雇用促進奨励金」「既卒者（新卒扱い）採用促進奨励金」を交付することにより、本区の若年者等の雇用安定化の促進と中小企業支援の一層の強化を図った。

交付実績

既卒者トライアル雇用促進奨励金（第1期）	2件	287千円
既卒者トライアル雇用促進奨励金（第2期）	1件	250千円
若年者等正規雇用促進奨励金（第1期）	1件	250千円

* 観光

(1) 東京湾大華火祭 [決算額 242,234 千円]

区民にうるおいとやすらぎの場を提供することにより、ふるさと意識を高めるとともに、観光商業の発展に資するため、花火大会を実施した。

実施日	平成24年8月11日
打上場所	晴海埠頭沖海上および晴海ふ頭公園
観覧会場	晴海運動場ほか
観客数	約65万人

(2) 都市観光推進協議会の設置 [決算額 180千円]

「中央区観光振興ビジョン2012」の実現に向けて、官民連携による新しい観光サービスや効果的な情報発信手法、観光の担い手を育成する方策等の企画開発について検討するため、地域団体、民間事業者、行政等から構成される「都市観光推進協議会」を設置した。

(3) 外国人観光客来街促進事業 [決算額 49,949千円]

平成24年10月9日から14日まで各国首脳級など約2万人が集う国際通貨基金（IMF）・世界銀行年次総会が東京で開催されることを受けて、この会議を契機に外国人観光客を積極的に誘致し、来街促進につなげることを目的とした事業を実施した。

主な事業内容

- ・区内オフィシャルホテルと各地区を結ぶシャトルバスの運行
- ・外国人観光客向けまち歩きマップの作成
- ・地域が実施する来街促進事業に対する補助

○ いきいきと学び豊かな個性を育むまちづくり

* 学校教育

(1) 学習意欲の向上と学習習慣の定着 [決算額 18,685千円]

小学校第4・6学年と中学校第1・3学年において実施する本区独自の「学習力サポートテスト」(平成24年5月8日実施)の結果を分析するとともに、個人別の学習診断カルテを作成・配付し、児童・生徒の学習意欲と学力の向上を図った。

なお、小学校第5学年と中学校第2学年については、東京都が実施する学力調査(平成24年7月5日実施)で個人別の学習診断カルテを作成した。

また、「学習力サポートテスト」の結果をもとに、各教科ごとの理解度に応じた段階的な「自主学習支援テキスト」(中学生版)を本区独自に作成した。

自主学習支援テキスト

対象学年 中学校第1学年～第3学年

教 科 国語、数学、英語、社会、理科

(2) 小学校の学力向上対策 [決算額 63,536千円]

基礎的学力の積み重ねが特に重視される算数について、非常勤講師を配置して、習熟度別指導・個別指導を実施するとともに、理科授業のより一層の充実および活性化を図るため、実験や観察等における教員の支援を行う理科支援員を配置した。

また、これまで土曜日を中心に行っていた補習学習を発展させ、放課後や土曜日、夏季休業期間中など、各学校の実情に応じた効率的な補習を行い、基礎的・基本的な学習内容の定着を図った。

- ・非常勤講師(算数)の配置 小学校16校 各1名配置
- ・理科支援員の配置 小学校16校の第5・6学年の全学級
(1学級あたり150時間)

(3) 中学校の学力向上対策 [決算額 73,247千円]

国語・数学・英語の3教科における習熟度別指導・個別指導等の充実を図るため、中学校の全学級で少人数授業を実施するとともに、各校の実情に応じて、少人数指導教科の拡大(理科・社会)を行った。

また、夏季休業期間中などに教育センター等を利用して習熟度別補習講座を実施し、生徒の学力に応じたきめ細やかな学習支援を行うとともに、平成24年度から中学校における土曜学校公開を年10回に拡大したことに伴い、各学校で実施していた土曜スクールを廃止し、教育センターを利用した土曜補習講座を年7回実施した。

- ・非常勤講師の配置 24人(国語、数学、英語、社会、理科 各校6人×4校)

・夏季補習講座（コース別）

参加生徒数 227人（第1学年97人、第2学年36人、第3学年94人）

参加率 約16.6%（参加生徒数／在籍生徒数）

・土曜補習講座

実施回数 I期（4月）2回、II期（9月）2回、III期（12月）3回

参加生徒数 延 346人

(4) 土曜学校公開

[決算額 ー 千円]

土曜日を活用した学校公開を推進し、保護者や地域に対する児童・生徒の学習状況や学校の教育活動の取組などをより積極的に公開するとともに、あわせて新学習指導要領に対応した授業時間数の確保と、確かな学力の定着を図った。

・小学校 年5回

・中学校 年10回

(5) 英語教育の推進

[決算額 73,000 千円]

国際化が進展する中、小学校の英語活動および中学校の英語の指導について、幼少期から英語に親しむことで、英語学習への関心や意欲を持たせるため、小・中学校全校にALT（外国語指導補助講師）を配置し、コミュニケーション能力の向上、中学校英語への効果的な接続、国際理解教育の視点に立った授業内容の展開を図った。

・小学校 第1・2学年 年間11時間（月1時間）

第3～6学年 年間35時間（週1時間）

・中学校 各校年間 190日

(6) 授業力向上支援

[決算額 3,035 千円]

本区独自の研究奨励校制度において「授業力向上モデル研究校」を指定するとともに、優れた指導力を有する教員を「メンタティーチャー」として認定し、若手教員等への指導・助言などを通して、さらなるメンタティーチャーの育成を含め、教員の授業力向上を図った。

また、メンタティーチャーの活動を支援するため、その教員の在籍校にメンタティーチャー補佐員を配置した。

・授業力向上モデル研究校の指定 2校

・メンタティーチャーの認定 小学校2名

・メンタティーチャー補佐員の配置 小学校2名

(7) 健康教育の推進

[決算額 55,760 千円]

ア 小学校の体育指導

全小学校に体育指導補助員を配置し、児童の関心・意欲や技能に合った実技指導の補助など体育指導を充実するとともに、1校1運動（マイスクールスポーツ）への継続的な取組を行った。

イ 中学校の体育指導

中学生の体力向上を図るため、新学習指導要領の保健体育に対応した「武道、ダンス」や運動種目ごとの専門的スキルや能力をもつ種目別サポーターを配置し、体育指導の充実を図った。

ウ 小・中学校の食育指導

小・中学校全校において、大学講師、プロの料理人等「食」の専門家による授業を実施した。

また、食生活の向上に寄与するよう、バランスの良い食事、生活習慣等の中での食育推進の参考として、親子クッキングスクールでの学校給食の献立紹介や食育に関する啓発資料の展示等を行った。

エ 中学校の部活動指導

部活動を安定的に実施するため、専門的な知識・技術および指導能力を有する指導員を外部から募り、部活動の活性化を図った。

(8) 心を育てる教育の推進

[決算額 16,487 千円]

いじめや不登校をはじめとする児童・生徒の悩みに寄り添い、向き合っていくために、命の尊さや友情といった心に訴える授業を全小・中学校で実施した。

また、不登校児童・生徒にさまざまな角度からアプローチするため、適応教室「わくわく21」に適応教室専門員（教職経験者）を配置し学校等と連携を深め、不登校の児童・生徒の生活や学習状況を詳細に把握するとともに、自立に向けた支援の充実を図った。

- ・命と心の授業（外部講師の講演等） 小学校16校・中学校4校
- ・適応教室専門員の配置 4名

(9) 教育相談

[決算額 51,295 千円]

教育センターでの来所相談や電話相談のほか、小学校、幼稚園および保育園へ専任教育相談員（臨床心理士等）を派遣し、教育全般に対する相談を行った。

(10) 特別支援教育への対応

[決算額 121,300 千円]

ア 特別支援教育専門員の配置

特別支援教育専門員を2名配置し、適切な就学に向けた相談を実施するとともに、就学後においても継続的にアプローチし、個々の障害に応じた教育的支援を行った。

イ 特別支援教育アドバイザーの派遣

小・中学校等に医師や臨床心理士等を派遣し、心身に障害のある児童・生徒についての専門的な指導・助言等を教員に対して行った。

派遣回数 小・中学校 各校年3回

宇佐美学園 年3回

幼稚園 各園年3回

特別支援学級・通級指導学級 各校年3回

ウ 特別支援教育推進マニュアルの策定

発達の遅れや障害のある児童・生徒の早期発見や特別な支援を必要とする児童・生徒への適切な指導のため、教員向けのマニュアルを作成し全校の教職員に配布した。

エ 特別支援学級の運営

心身に障害のある児童・生徒に対し、特別支援学級を設け、特別支援教育補佐員を配置するなど、一人ひとりの能力に応じた適切な教育を行った。

オ 特別支援教育コーディネーター補佐員の試行配置

教員による特別支援教育コーディネーターを補佐する特別支援教育コーディネーター補佐員を配置し、スクールカウンセラー、学習指導補助員等との連携や、子どもの能力と可能性を伸長する検討への支援を行った。

カ 学習指導補助員の配置

通級指導学級に通う児童・生徒が原籍校の通常学級で学習する場合や教育的支援を必要とする児童・生徒が通常学級に在籍する場合において、きめ細やかな支援と学習指導を円滑にすることを目的として、学習指導補助員を配置した。

キ 介助員の配置

重い障害のある児童・生徒が在籍する学級に対し、介助員を配置した。

(11) 小学校・幼稚園の改築

[決算額 5,644,116 千円]

築80年を経過した学校施設の老朽化への対応とともに、教室や体育館の拡充など施設機能の更新を行い、新しい時代に即した教育環境の整備や良好な学習空間の確保を図るため、小学校・幼稚園の整備を進めた。

ア 中央小学校・中央幼稚園および明石小学校・明石幼稚園

整備経過等	平成 22 年度	既存校・園舎解体 建設工事
	平成 23 年度	建設工事
	平成 24 年度	建設工事・新校（園）舎完成（7 月）

イ 明正小学校・明正幼稚園

整備経過等	平成 24 年度	既存校・園舎解体 建設工事
	平成 25 年度	建設工事
	平成 26 年度	建設工事・新校（園）舎完成（7 月予定）

(12) スクールバスの運行

[決算額 18,959 千円]

特認校制度の実施に伴い、就学人口の多い月島地域から比較的離れている小規模校である城東小学校、常盤小学校、阪本小学校への交通手段として、スクールバスを登下校時に運行した。

運行便数	登校時 1 便 下校時 2 便
乗降場所	月島地域で指定する 4 カ所および各校の正門付近
利用者数	64 人

* 生涯学習・スポーツ

(1) 中央小学校・明石小学校のスポーツ開放

[決算額 14,004 千円]

区民の健康増進と体力向上を図るとともに、地域スポーツの振興に寄与するため、中央小学校および明石小学校新校舎の体育施設の開放を行った。

開放開始 平成 24 年 10 月

利用実績

・中央小学校	体育館	43 団体	
	校 庭	107 団体	
	温水プール	個人利用	3,809 人
		団体利用	延 13 コース 135 人
・明石小学校	体育館	47 団体	

(2) 地域スポーツクラブの設立支援

[決算額 386千円]

地域住民により自主的・主体的に運営され、身近な地域で子どもから高齢者までさまざまな人々がスポーツに親しむことのできる地域スポーツクラブの設立に向けた支援を行い、平成25年2月、本区初の地域スポーツクラブ「中央区地域スポーツクラブ大江戸月島」が設立された。

主な支援内容	活動拠点の確保に関する支援
	広報活動への協力
	運営活動に関する助言等

○ 文化の香る交流のまちづくり

* コミュニティ

(1) 大江戸まつり盆おどり大会 [決算額 40,251 千円]

区民のふるさと意識の高揚と地域の活性化を図るため、江戸のまちにゆかりの深い盆踊りを中心とした「中央区大江戸まつり盆おどり大会」を町会等区内各団体の協力を得て開催した。

実施日	平成24年8月24日・25日
会場	浜町公園
開催内容	盆おどり大会、大江戸縁日コーナー、友好・交流都市コーナー等
来場者数	延80,000人

(2) 雪まつり [決算額 10,222 千円]

自然の雪と接する機会の少ない区民が、積極的に参加できる冬のイベントとして、本区の友好都市である山形県東根市から雪の提供（10トントラック20台分）を受けて開催した。

実施日	平成25年2月9日・10日
会場	あかつき公園
内容	雪遊びコーナー、ミニ動物園、味コーナー、炊き出しコーナー等
来場者数	延 20,000 人

(3) 協働提案事業 [決算額 1,106 千円]

社会貢献活動団体（NPO法人・ボランティア団体など）と区が力を合わせて公共的な課題解決に取り組み、よりきめ細かな行政サービスを提供するため、平成23年度に協働提案事業を公募し、審査の上採択された2事業について平成24年度に実施した。

ア 親子でいっしょにアートデリバリー

芸術活動を通して子どもの成長やその子らしさを保護者が再認識する機会を提供するとともに、参加した保護者同士が交流・協力できるような取組を推進するため、0歳～3歳の親子を対象に参加体験型の芸術講座（ワークショップ）を実施した。

実施団体	特定非営利活動法人 芸術資源開発機構
実施回数	6回
参加者数	延 81 組

イ 檜原村で中央区のふるさと大発見

区民に「中央区の森」をより身近に感じてもらうため、森林保全活動の大切さを学ぶとともに、檜原村民との交流を通して村の自然環境・文化・伝統等に触れることにより、あらためて環境について考える機会を提供する体験ツアーを実施した。

実施団体 環境保全ネットワーク

実施日 平成24年7月26日

参加者数 33人

(4) 区民還暦祝い事業

[決算額 10,241千円]

還暦を迎える区民の人生の節目を祝福するとともに、今後の人生をより充実させるための学びへの意識高揚や、これまで培った知識や経験・能力を地域社会で生かしたいという行動の契機とすることを目的に実施した。

ア 還暦祝い状・祝い品（映画ペア券）の贈呈

対象 平成24年度中に60歳を迎えた区民

発送時期 平成24年9月

イ 還暦のつどいの実施

実施日 平成24年11月23日

対象 参加を希望する還暦対象者

会場 銀座ブロッサム（中央会館）ホール

内容 シニア世代の活動紹介、コンサート

*文化振興

(1) 中央区まるごとミュージアム

[決算額 32,658千円]

文化・芸術の秋の一日に、民間の文化事業を含む区内のさまざまな文化的な魅力を区民等に体験してもらうための文化イベントを中央区文化・国際交流振興協会との共催で実施した。

中央区というまち全体が、名所・旧跡、画廊・美術館、水辺など数々の魅力にあふれるミュージアムであることから、区民等が無料で区内を巡回するバスや船、さらには江戸バスに乗り回遊しながら本区の文化的な魅力を大いに楽しみ享受できる一日とした。

実施日 平成24年11月4日

場所 中央区全域

参加者数 延 65,000人（江戸バス・借上バスの乗車人数 5,948人、
船の乗船人数 3,900人）

(2) 文化事業助成

[決算額 5,016 千円]

本区にふさわしい文化の創造や区民および民間事業者等による文化活動の活性化を図るため、文化振興基金を活用して文化事業に対する助成を行った。

また、平成 25 年度の助成対象事業について選考を行った。

助成対象事業

- ・ 広く区民等に公開される、原則として他で発表されていない新たな取組であるもの
- ・ 区の魅力を発信する文化事業で区内で公開されるもの
- ・ 文化事業に携わるボランティア、文化事業を主な目的とする N P O 法人など文化事業を行う個人または団体を区内で育成するもの

平成 24 年度助成事業数および助成額 4 事業 4,464 千円

平成 25 年度助成予定事業数 4 事業（応募事業数 20 件）

(3) まちかど展示館

[決算額 18,404 千円]

地域文化の継承と区民の文化意識の向上を図るとともに、地域への誇りや愛着心をはぐくむため、区民等が地域にある文化資源を発掘し、展示・公開を行う施設を新たに整備する場合に、その整備等に要する費用を助成した。

認定施設数 13 施設

助成件数 16 件（建設整備費補助 1 件、改装整備費補助 5 件、
設計費補助 1 件、運営管理費補助 9 件）

(4) 子ども向け文化・歴史読本の作成

[決算額 18,058 千円]

子どもたちが江戸時代から日本の中心地であり続ける本区の歴史を楽しく学べるように解説し、また、地域ごとの特色を実感できるように特徴的な産業や地理を写真とイラストで紹介した「Jr. 中央区文化・歴史ずかん」を発行（500 部）し、小・中学校等に配布するとともに図書館ホームページから閲覧できるようにした。

* 平和

(1) 平和の都市（まち）の楽しい集い

[決算額 9,181千円]

本区は、昭和63年3月15日に平和都市であることを宣言した。

この宣言の趣旨を普及させるとともに、平和の大切さを区民に訴えるため「平和の都市（まち）の楽しい集い」を開催した。

実施日 平成25年3月15日

会場 銀座ブロッサム（中央会館）ホール

内容 クラシックコンサート

「ミューズが奏でる世界のハーモニー」

出演者 川井郁子（ヴァイオリン）

NHK交響楽団メンバーによる弦楽合奏団

前売入場券発売数 900枚

当日入場者数 877人

(2) 平和展

[決算額 2,402千円]

本区の空襲被害、戦中・戦後の市民生活や子どもの様子など、当時を物語る写真や戦災資料を公開展示することにより、区民に平和の大切さ、尊さを訴え、平和を見つめ直すきっかけづくりとして、平和展を開催した。

また、次代を担う児童・生徒を対象とした区立小・中学校巡回平和展を実施した。

ア 平和展

期間 平成25年2月26日～3月12日の開庁日

場所 区役所1階 ロビー

日本橋区民センター1階 エントランスホール

月島区民センター1階 コミュニティサロン

展示内容 写真パネル・物品資料の展示、ビデオ（戦災体験者の証言等）の上映

来場者数 約20,000人

イ 区立小・中学校巡回平和展

対象校 小学校16校（明正小学校は改築工事のため中央小学校と同時開催）

中学校4校 計20校

期間 平成24年9月27日～平成25年2月6日

1校あたり2週間の展示

実施内容 写真パネルの展示、平和絵本・平和クイズの展示・閲覧、平和関連映像DVDの貸出

4 その他の主要な課題への対応と区政改革の推進

○ 新たな課題への対応

- (1) 「区のおしらせ 中央」および「区議会だより」のコンビニエンスストア・地下鉄駅での配布 [決算額 310千円]

「区のおしらせ 中央」および「区議会だより」の入手機会の拡大を図るため、新たに地下鉄3駅（東京メトロ日本橋・茅場町・銀座駅）での配布を開始した。

- (2) 「労働スクエア東京」跡地複合施設整備 [決算額 229,301千円]

「労働スクエア東京」跡地を文化・生涯学習・区民活動の中心的拠点となる施設として整備する基本コンセプトに基づき、基本設計および実施設計を行った。

あわせて、施設の開館時間、施設利用料、管理運営等に関する考え方を取りまとめた。

計 画 地 中央区新富1丁目13番

面 積 敷地面積 約4,000 m²（「労働スクエア東京」跡地 6,177.68 m²の東側を東京都から取得）

延床面積 19,060 m²

構 造 等 地下2階、地上7階、塔屋1階（建物高さ41.1m）

- (3) 中央区基本計画2013の策定 [決算額 12,035千円]

「中央区基本計画2013」は、平成10年に20年後の将来像を描いて定めた「中央区基本構想」実現のための総仕上げとなる長期総合計画であり、将来像の実現に向けて、推進すべき施策の体系と基本的な方向を長期的な展望に立って明らかにするものである。

本計画では、これまで力強く増加した人口を確実に定着させ、新たな発展につなげるために不可欠な学校や高齢者福祉施設などの集中的な整備をはじめ、子育て・教育施策の一層の推進、高齢者福祉、障害者福祉のさらなる充実など、将来にわたる豊かな区民生活を見据えた各施策を計画化した。計画事業は83事業、総計画事業費は約1,181億円である。

なお、原則として施策ごとに「施策の達成状況の目標となる指標」を設定し、各施策の進捗状況や課題を把握しながら、適切に計画を進行管理する仕組みづくりを行った。これにより計画を着実に推進し、区の将来像実現につなげていく。

計画期間 平成25年度～平成34年度

10年後の中央区（優先的・重点的取組施策）

- ・災害に強い都心のまちづくり
- ・子どもが輝く子育て・教育のまちづくり
- ・すべての人々の健康と高齢者の生きがいのあるまちづくり

- ・地球にやさしい水と緑のまちづくり
- ・歴史と先進性を生かしたにぎわいのあるまちづくり

(4) **子どもたちの人権メッセージ発表会**

[決算額 1,266千円]

特別区と八丈町の小学生代表が一堂に会し、人権をテーマとした作文を発表する「子どもたちの人権メッセージ発表会」を開催した。

本区からは明正小学校、明石小学校、有馬小学校、泰明小学校の代表が考えや意見を発表した。また、アトラクションとして、豊海小学校生徒が管楽器演奏、有馬小学校生徒が合唱を披露した。

実 施 日 平成24年9月15日

会 場 銀座ブロッサム(中央会館)ホール

主 催 特別区・島しょ人権啓発活動ネットワーク協議会、東京人権擁護委員協議会、東京法務局、中央区

参加者数 823名

(5) **企画ラジオ番組の放送**

[決算額 10,495千円]

平成24年4月から区民の声などを伝える区民参加型の企画番組「ウィークリー声の架け橋」を制作（20分番組、1日3回放送、毎週水曜日内容更新）し、地域密着型FM放送局である中央エフエムを媒体として放送を開始した。

(6) **人材育成研修の実施**

[決算額 1,093千円]

ア 新任職員育成担当者研修

新規採用職員を受け入れるに当たって、育成担当者の役割を理解し、新任職員の効果的な指導方法を習得するとともに、職場全体で計画的・継続的に育成していく意識を醸成するため、研修を実施した。

対 象 者 新任職員育成担当者および新任職員配属先の係長

実施回数 各2回（計4回）

受講者数 90人

イ 人材育成研修（OJTリーダー）

OJTリーダーの役割を理解し、職場研修の効果的・計画的な実践に必要な知識を習得するため、研修を実施した。

対 象 者 各職場のOJTリーダー

実施回数 2回

受講者数 55人

ウ 人材育成研修（監督者）

職場における職員育成の重要性と係長の役割を理解するとともに、OJTを円滑に推進するための組織管理能力の向上を図るため、研修を実施した。

対 象 者 各職場の係長

実施回数 4回

受講者数 50人

○ 緊急な課題への対応

(1) 緊急雇用創出事業 [決算額 60,154 千円]

雇用情勢の悪化を受け、さらなる雇用の創出を図るため、都の補助金を活用して緊急雇用創出事業を実施した。

① 未就職学卒者の就労支援事業 (決算額 48,926千円)

人材派遣会社等において、未就職学卒者に対し社会人として必要な基礎知識や技術を習得するための研修を実施するとともに、求人を希望する事業所で体験就業を行うなど、若年者の就業を支援した。

応募者数 102人

採用者数 25人

区内就業者数 23人

② 路上弁当販売監視指導 (決算額 4,027千円)

行商による路上でのルールを守らない弁当販売に対し、警察署等関係機関と連携を図りながら、食品取扱状況および衛生基準等の監視を行うため、路上弁当販売監視員を配置した。

新規雇用者数 11人（従事者18人）

監視場所 20カ所（京橋地区 7カ所、日本橋地区 11カ所、月島地区 2カ所）

監視体制 週2回（2人×2班×延94日）

実施期間 平成24年4月～平成25年3月

監視件数 4,326 件

③ 駅周辺等放置自転車の整理

[決算額 7,201千円]

区内12鉄道駅周辺道路および1公園の放置自転車整理業務を行った。

新規雇用者数 16人（従事者16人）

対象箇所 京橋駅、築地駅、新富町駅、宝町駅、築地市場駅、小伝馬町駅、
茅場町駅、東日本橋駅、馬喰横山駅、浜町駅、月島駅、勝どき駅、
浜町公園

整理台数 354,526台

(2) 東日本大震災被災地への支援

[決算額 10,561千円]

ア 職員派遣

宮城県石巻市に、年間を通して事務職員および土木技術職員各1人を派遣した。

イ 石巻市小・中学生等の東京湾大華火祭への招待

復興に取り組む石巻市民を慰労するとともに、本区を知っていただくため、石巻市の小学校3年生から中学校3年生までの子どもと保護者を東京湾大華火祭に招待した。

参加者数 147組 295人

ウ 「春の大応援物産フェア in 銀座」への補助

東日本大震災で被災または風評被害を受けた東北地方を継続的に支援するための物産フェアに対し、地元産品および物産品の販売等に係る経費の一部を補助した。

(3) 被災地支援のためのボランティア保険料助成

[決算額 1,154千円]

区民や区内在勤者が被災地でのボランティア活動に従事するに当たり、社会福祉協議会のボランティア保険に加入する場合の保険料を全額助成した。

対象者 社会福祉法人中央区社会福祉協議会で加入申込みの手続きをする区民および区内在勤者

助成額 1人当たり1,400円（社会福祉法人東京都社会福祉協議会が保険契約者であるボランティア保険のうち「天災Cプラン」の保険料全額）

助成者数 824人

(4) 放射線環境測定調査

[決算額 1,131千円]

放射能汚染に対する区民の不安を解消するため、区内3カ所の定点で放射線量を測定するとともに、土壌・プールなどの放射能測定を実施し、ホームページで結果を公表した。

また、区民を対象に放射線測定器の貸出を行った。

ア 空間放射線量の測定

実施日 平成24年4月1日～6月末日 土・日・祝日を除く毎日

平成24年7月1日以降、各定点で週1回（実施日が祝日の場合は翌平日）

あかつき公園 水曜日

堀留児童公園 月曜日

月島第一児童公園 金曜日

測定結果（平均値：地表1mの高さ）

あかつき公園 0.06マイクロシーベルト／時

堀留児童公園 0.07マイクロシーベルト／時

月島第一児童公園 0.07マイクロシーベルト／時

イ 放射線測定器の貸出実績

貸出件数 22件

ウ 区立小・中学校屋外プール水の放射能測定

実施日 平成24年5月30日、6月13日（両日にわたり各校1回のみ実施）

対象 区立小学校12校、区立中学校4校

検査項目 ヨウ素131、セシウム134、セシウム137

（検出下限値：10ベクレル／kg）

検査結果 すべて不検出

エ 区立公園での土壌の放射能測定

実施日 平成24年8月23日、12月5日、平成25年3月8日

対象 あかつき公園、堀留児童公園、月島第一児童公園

検査項目 ヨウ素131、セシウム134、セシウム137

（検出下限値：10ベクレル／kg）

検査結果 各地点において検出された検査項目の最小値、最大値

ヨウ素 不検出

セシウム134 16～84ベクレル／kg

セシウム137 31～154ベクレル／kg

（土壌中放射性セシウムの上限值 5,000ベクレル／kg）

オ 柏学園および契約農園での土壌の放射能測定

実 施 日 平成24年8月29日、8月30日（両日にわたり各農園1回のみ実施）

対 象 柏学園、土屋農園、ワタミファーム山武農園、荒幡農園

検査項目 ヨウ素131、セシウム134、セシウム137

（検出下限値：10ベクレル/kg）

検査結果 各地点において検出された検査項目の最小値、最大値

ヨウ素 不検出

セシウム134 16～110ベクレル/kg

セシウム137 28～170ベクレル/kg

（土壌中放射性セシウムの上限值 5,000ベクレル/kg）

○ 電子区役所の推進

(1) デジタルサイネージの導入

【決算額 1,609千円】

平成23年度から総合スポーツセンターにおいて「施設予約状況」「館内案内」等の掲示、画面の一部を利用した広報コンテンツ等区政情報の配信を実施している。平成25年1月から設置場所を増やし、区役所本庁舎、日本橋・月島特別出張所においても区政情報の配信を開始した。

○ 区施設の改修

(1) 中央会館「銀座ブロッサム」 [決算額 114,179千円]

施設の老朽化に伴い、平成25年度に実施するホール舞台設備等改修工事に向けて、実施設計を行うとともに、工事契約を締結した。

(2) 区民健康村「ヴィラ本栖」 [決算額 817,293千円]

施設の経年による劣化改修および機能の見直しを含めた大規模改修を行った。あわせて、利用者から要望が多かったパソコンコーナーの新設とカラオケルームの改修を行った。

改修内容

- ・劣化改修（各所内部仕上げ改修、コテージ外壁・屋根塗装、電気設備・空調設備等の更新）
- ・バリアフリー改修（大浴場手すり、トイレベビーシート）
- ・パソコンコーナーの新設
- ・カラオケルームの改修

(3) 特別養護老人ホーム「マイホームはるみ」等複合施設 [決算額 488,205千円]

施設の老朽化への対応とあわせ、特別養護老人ホームの定員増を図るため、大規模改修工事を実施した。

工事期間 平成24年7月～平成27年3月